

北区子育て支援に関するニーズ調査
報 告 書

平成23年3月

大阪市北区保健福祉センター

目 次

I. 調査の概要	
1. 調査目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査内容	1
4. 調査の依頼・方法及び配布部数・回収部数	1
5. 調査期間	2
6. 本報告書の見方	2
II. 調査結果のまとめ	
1. 基本情報について	3
2. 出産について	3
3. 子育てについて	4
4. 子育て情報について	5
5. 自由意見欄について	5
III. 調査結果の詳細	
1. 基本情報について	6
2. 出産について	12
3. 子育てについて	16
4. 子育て情報について	29
5. 自由意見欄について	37
資料	
アンケート用紙	43

平成22年度 北区子育て支援に関するニーズ調査

I. 調査の概要

1. 調査目的

北区においては、繁華街やオフィスビルが林立する大都会の中心部にありながら、近年若い世代の住民が増加し、出生数も増加している。その一方、出産後も区内に居住して子育てを行っている定着率については必ずしも高いとは言えず、流動的である。また区内には子育ていろいろ相談センターをはじめキッズプラザなど大規模なものから地域における子育てサロンまでさまざまな規模の子育て支援関連の資源が存在しているが、その利用実態の把握は十分とはいえない。

これらの状況を踏まえ、子育て中の保護者の意識や、地域における子育て支援に関する資源の活用についてアンケート調査を行い、北区の特性を把握し、今後の地域における子育て支援の有機的な方策について検討するとともに、区民による自主的な子育て支援活動の活性化を図り、「安心して子育てのできるまち北区」の実現に繋げるものである。

2. 調査対象

北区在住の未就学児（区内の幼稚園児・保育園児および乳幼児健診受診者等）の保護者

3. 調査内容

- ・出産について（出産時の感想、それまでの子育て経験など）
- ・子育てについて（子育ての環境、子育ての感想、生活の変化、子育ての工夫、大事にしている事、子どもへの期待）
- ・子育て情報について（情報活用度、携帯電話の利用状況、公共機関への意見、既存の情報・機関・サービスに対する認知度・利用度・期待度）
- ・基本属性（居住地域、居宅状況、転居意向、家族構成、年齢など）

4. 調査の依頼・方法および配布部数・回収部数

区内の幼稚園・保育園へ通園している児童の保護者及び保健福祉センターで実施した乳幼児健診受診者及び来庁者、地域子育てサロンやつどいの広場へ参加している保護者等に依頼した。

調査票は関係機関及び保健福祉センター窓口等で手渡し配布後、郵送にて回収した。

配布機関	配布部数	(配布比率)	回収部数	回収率
保健福祉センター乳幼児健診	318	14%	-	-
保健福祉センター等関係機関窓口	202	9%	-	-
地域子育てサロン	252	11%	-	-
つどいの広場	223	10%	-	-
保育園・保育所	1044	45%	-	-
幼稚園	257	11%	-	-
合計	2296	-	959	41.8%

5. 調査期間

平成22年10月1日～11月10日

6. 本報告書の見方

(1) 報告の順序は次の通り(①②・・・)で、アンケートの記載順序と一部異なる。

- ①「基本情報について」 回答者の基本情報として、次の項目を掲載する。
 - ・アンケート先頭にある、アンケート記入者
 - ・アンケート最後にある、「家庭の状況について」
 - ・アンケートの最初の「住まいについて」
- ②「出産について」
- ③「子育てについて」
- ④「子育て情報について」
- ⑤「自由意見欄について」

(2) 使用するグラフは、4種類とする。

- ①円グラフ
選択肢が一つしかない質問の場合に使用する。
但し、小数点以下第二位を四捨五入するので、合計そのものは必ずしも100%にならない場合がある。
表示する項目は、該当の数・全体の中での比率(%)とする。
- ②横棒グラフ
複数の選択肢がある場合に使用する。表示する項目は、該当の数と、対象の数に占める比率(%)である。
- ③横棒グラフ積み上げ
項目ごとの全体の比率を見るために使用する。
- ④縦棒グラフ
「子育て情報について」の中で、各種情報発信・機関・サービスについて、中学校区別もしくは年代別の傾向を見る時に使用する。

(3) 図・表中の (n:数字) は、該当設問での回答者総数を表わす。

(4) 年齢については、平成22年10月1日を基準とする。

<参考・引用>

- ①平成19年度 大阪市「子どもの育成について」の世論調査報告書
- ②平成19年度 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
保育所と地域が協働した子育て支援活動研究報告書

Ⅱ. 調査結果のまとめ

1. 基本情報について

- ・「回答者」の大半は母親(95.3%)で、残りが父親(4%)とその他・未記入(0.7%)であった。

家庭の状況について

- ・回答者を含む「父母の年代」では、父母とも30代(58.6%、71.2%)が多く、母親は20代(13.2%)・40代(15.2%)と続き、父親は40代(31.6%)・20代(9.5%)と続く。なお10代は父母とも3、4名(0.4%、0.5%)と少なかった。
- ・「就労状況」では、母親の66.3%は就労しており働く母親が多いが、これは保育園等を通じて配付した調査票が、45%となった影響が考えられる。
- ・「働き方」では、母親は「会社員、公務員」が半分(51%)を占め、「派遣・パート・アルバイト」が36.4%、自営業12.6%となっている。
- ・「家庭の暮らし向き」は、全体の約20%は「ゆとりがある」と回答しているが、40%近くは苦しいと感じている。
- ・「家族構成」では、夫婦と子どもという家庭が78.2%を占め、三世代の家庭も14%と高かった。
- ・「子どもの人数」は、1人だけの家庭が49.8%と半数を占めていた。

住まいについて

- ・中学校区別に回答者の分布をみると、「北陵」「大淀」「天満」は25～21%、「豊崎」「新豊崎」は約14%であり、全校区から満遍なく回答が得られた。
- ・現在の「住まいへの居住開始」は、半数以上(54.4%)の家庭が過去5年以内(平成18年以降)で、現在の住まいの「前の居住地」は、「大阪市外」が28.4%、「大阪市内他区」が24.7%であり、半数近くの45.8%は「以前も北区」に居住していた。
- ・「居宅の種類」は、「マンション」が76.7%と一番高く、「一戸建て」が9.3%、「市営・UR住宅」が7.2%となっている。地域(中学校区)で見ると、新豊崎は「市営・UR住宅」が31.8%と区全体と比べて比率が高く、大淀は「一戸建て」が16.1%と区全体と比べて比率が高くなっている。
- ・「北区を居住地に選んだ理由」について、「生活に便利」が45.2%、「職場に近い」が41.5%と高く、北区という土地柄の利便性を優先していると考えられる。また、「実家が近い」が23.5%、「生まれ育った所」が19.3%と比較的ポイントが高いことから、地元志向がうかがえる。
- ・「転居をお考えの理由」では、全回答者の約半数(48%)近くが転居を考えている。その理由について、「家賃や住環境」が34.6%、「子育て・就学の環境」が33.5%となっている。地域(中学校区)で見ると、北稜校区は「仕事の都合」、新豊崎校区は「子育て・就学の環境」、豊崎校区では「家賃や住環境」が、他の校区より高く、それぞれが地域の特徴と考えられる。
- ・「子どもの将来の進路」に関しては、「北区の公立小学校」が65.1%、「今は特に考えていない」が23.3%となっている。

2. 出産について

- ・「第1子が出生した時の感想」では、約8割の方が「子供が出来たことが非常にうれしかった」(84.6%)、「まわりの人が喜んでくれた」(75.8%)とあり、自分自身の喜びとまわりの人の喜びを感じている。
また約半数(56.7%)には「親族など援助をしてくれる人がいた」が、その一方で約2割の方は「経済面の不安があった」(22.7%)、「仕事の両立で悩んだ」(21%)と答えており、悩みながらの出産であったことがうかがえる。

- ・「母子手帳をもらった時や出生時の大阪市(北区)の情報や説明」について、82.4%の方は「充分だった」「大体わかった」との回答であったが、約1割は説明不足を感じていたようである。
- ・はじめての出産までの「子育てを手伝ったり、赤ちゃんに触れる機会の有無」に関して、「機会がなかった」が44.2%となっている。また20代・30代の母に比べ、40代の母に「機会がなかった」との回答した率が高く、特徴的であった。
- ・子どもが1人いる方のうち、約6割の方は2人目を考えている。また「子どもは1人でもいい」と回答した方90件の自由記載をキーワードごとにまとめたところ、「経済的」が32件、「年齢」が27件と回答しており、その他では「母子家庭」「体力」などであった。
- ・2人目以降の出産時の感想について、多くの方が「うれしかった」(92.4%)、「不安が少なかった」(73.4%)と感じている一方で、「経済的不安」(33.2%)、「子育ての負担が大きい」(28.8%)、「仕事と両立の悩み」(20.5%)というマイナス要素を感じている。その中で年代が「20代」の方や暮し向きで「苦しい」と回答した方にその比率が高かった。

3. 子育てについて

- ・「子育ての中心」は、9割以上の家庭で「お母さん(母親)」となっている。
- ・「子育てのサポート」については、約9割の家庭ではサポートがあり(86%)、残りの1割は「ほとんど1人で子育てしている」(10.7%)という状況であった。
- ・サポートの内訳として多いのは「配偶者」(76.2%)「親族」(69.2%)であるが、次いで多いのが「幼稚園・保育園」(62.5%)となっており、「幼稚園・保育園」が家庭の中で子育ての重要な位置を占めていることがうかがえる。

子育てをしていて思ったことについて

- ・「子育ての感想」として、「楽しい」(22.1%)、「楽しい事もあるし、つらいこともある」(76.9%)となっており、ほとんどの方は「楽しい」と感じている。その「楽しい」と感じた理由として多いのは、「子どもの笑顔・寝顔を見たときや、笑い声を聞いたとき」(97.1%)、「抱いたりふれあって遊ぶとき」(86.8%)となっている。
- ・「つらい」と感じる理由として多かったのは、「自分の時間が無い」(60.9%)、次いで「子どもが思うようにならない」(39.1%)、「子育ての負担が自分だけにかかっている」(26.8%)となっている。年代別では、20代の「周囲の目が気になる(子どもの泣き声が激しいなどの時)」が、30代40代に比べややその比率が高く、家族構成でみた場合、ひとり親家庭で「子育ての負担が自分だけにかかっている」と感じる比率が、やや高くなっている。
- ・「子育てをすることで、あなたやあなたの生活がどうかわりましたか？」については、「親も成長すると感じた」が79.9%と全体的にプラスにとらえられている方が多かった。一方で「時間や行動など、制限されることが多くなった」(78.6%)も多く、「人間関係が面倒くさくなった」(11.3%)という回答もあった。
- ・「育児の不安を乗り越えるための工夫」については、「配偶者や親族に協力してもらっている」が87.1%、「子育て中の親同士で友達を作っている」が29.9%となっている。「地域のサロンやつどいの広場を利用している」は20.5%となっている。年代別にみた場合、「インターネットを利用しての相談・書き込みをしている」や「地域のサロンやつどいの広場を利用している」は、20代の方の比率が高くなっている。
- ・「子育てで大事にしていること」については、「子どもと遊ぶ時間を大切にしている」が80.9%、「しつけは家庭でするようにしている」が77.3%、「子どもの良いところを見つけてほめる」が68.3%と特に高く、全体的にしっかりと子どもの事を考えていることがわかった。

- ・「子どもと遊ぶ時間を大切にしている」（776件）の中で多かったのが、「休みの日家族で出かける」が70.9%、「あやしたりふれあって遊ぶ」が67.1%、「絵本を読む」65.6%という回答から、「家族そろって」「自宅以外」「ふれあい」を大切にする親の意識がうかがえる。
- ・「実体験を大切にする」（539件）については、「お手伝いをさせる」が77%、「自然にふれてあそぶ」が62.9%、「一緒に料理する」が40.4%という回答であった。その他自由記入欄にも様々な回答があった。
- ・「どんな子に育ててほしいですか」では、いずれの項目も半数以上の人の回答だが、回答数の上位は「元気で健康な子」が92.4%、「人に対して思いやりのある子」が92.2%、「困難を乗り越える力を持った子」が78.7%で、目の前の金銭や物ではなく、「思いやり、困難を乗り越える」等の優しさ・強さの心の部分と、それを支える「元気で健康」の体の両面を重視していることがわかる。

4. 子育て情報について

子育て支援に関する情報について

- ・大阪市からの「子育て支援情報への関心」では、「積極的に利用している」が34.5%であった。一方で「情報を得たいがどうすればいいかわからない」が20.5%、「情報が多く迷ってしまう」が3.9%、「どのような情報があるかわからない」が26.3%となっており、3項目合計で半数を占めている。情報発信について、整理や周知方法の見直しの必要があると考えられる。
- ・「積極的に利用している」（331件）の「情報の入手方法」については、「広報誌(わがまち北区)」が77.6%、「幼稚園や保育所からのお知らせ」が67.1%と、子育てそのものに忙しいせいもあり、受動的な入手が多いようだが、20代では「インターネットや携帯サイト」「知人からの口コミやメール」等のように、能動的に情報を集める傾向が高いようである。なお平成19年度「こどもの育成について」の世論調査報告書で、「情報入手方法」で最も多かった「家族や知人からの情報」は57%であるが、今回の調査では33.8%と低くなっている事から、北区の特徴である「転居されてからまもない人」が多く、地域でのコミュニケーションよりも子育て関係機関から情報を得るようにしているのではないかと考えられる。

携帯電話の利用について

- ・「携帯電話の通話以外の利用」に関して、ほとんどが「メール」（95%）を利用し、インターネットの利用も50.7%あり、携帯電話が情報収集・発信によく使われていることが再認識された。なおインターネットの利用方法では、「レシピ検索」（49.6%）、「ショッピング」（44.7%）、「子育て情報」（43.6%）の順で多く利用され、いずれも40%を超えている。

北区で提供されている情報発信や機関・サービスについて

- ・情報発信10種類、機関・サービス14種類について、認知度・利用度・期待度を確認した。全般的には「名前は知っているが、利用したことはない」が、今回のアンケートを機に、「利用したい」と思った方が多数みうけられた。このことから情報発信に関し、内容の整理・見直しにより、一層の利用が期待できると考える。地域(中学校区)別にみた場合、機関や施設所在地に近い人ほど、認知度・利用度・期待度は高くなっている。
- ・参加したいイベントについて、多かったのは「コンサート」（54.5%）や「人形劇」（51.1%）だったが、その他では「リサイクル活動」（46.4%）や「野外活動」（40.4%）で、いずれも4割以上の方から回答があった。また「参加型の子育て講座」は28.7%、「保育ボランティア養成講座」は9.5%の回答があった。

5. 自由意見欄について

意見の全般について、熱心な保護者が多く、非常に丁寧・真剣な意見をたくさんいただけた。紙面に限りがあるため全ての掲載は難しいが、代表的な意見を集約した。

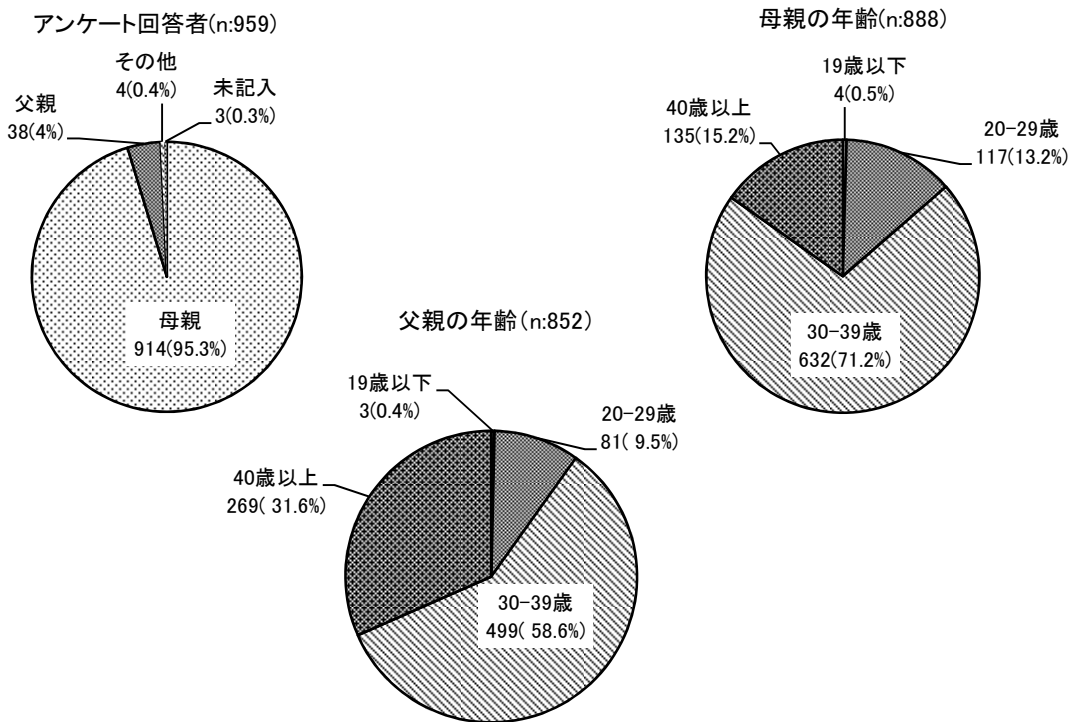
Ⅲ. 調査結果の詳細

1. 基本情報について

家庭の状況について

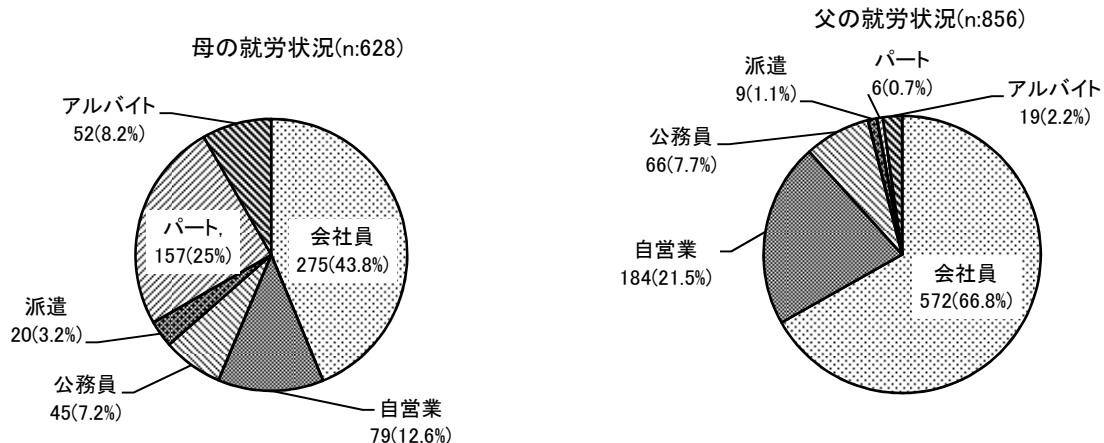
1) 回答者の性別と年齢

「回答者」の大半は母親(95.3%)で、残りが父親(4%)であった。年代の内訳は、母親は30代が71.2%、40代が15.2%、20代が13.2%となっている。父親は母親より年齢が若干高め、30代が58.6%、40代が31.6%となり、20代は9.5%であった。なお10代の父親母親は、いずれも3、4名(0.4%、0.5%)と少なかった。



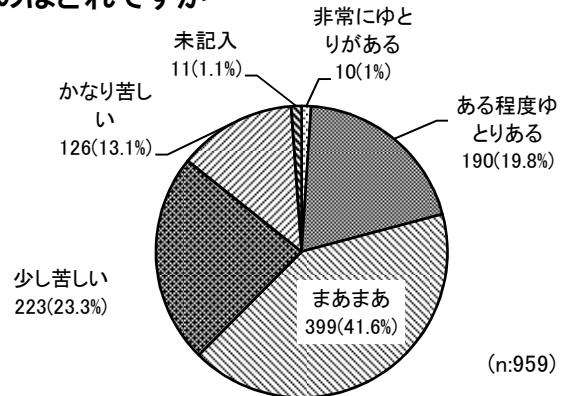
2) 就労状況

母親の66.3%は就労しており、未就労は33.7%となっている。母親の就労者のうち、「会社員」(43.8%)、「公務員」(7.2%)で約半数を占めた。残りの半数のうち「自営業」は12.6%、「派遣・パート・アルバイト」で36.4%となっている。父親は「会社員」(66.8%)、「公務員」(7.7%)で約3/4を占め、「自営業」(21.5%)、「派遣・パート・アルバイト」(4%)となっている。



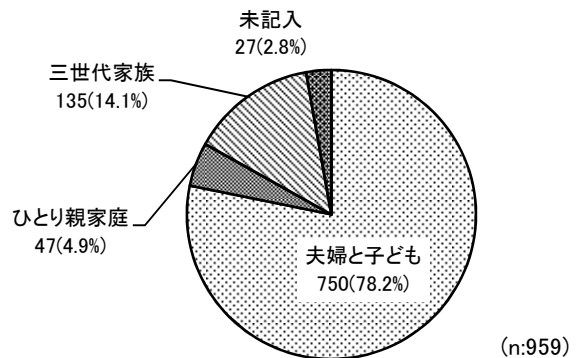
3)ご家庭の暮らし向きについて、近いものはどれですか

「少し苦しい」23.3%、「かなり苦しい」13.1%で、4割近くが苦しいと感じている。「まあまあ」は42%を占め、「非常にゆとりがある」1%、「ある程度ゆとりがある」19.8%で、約2割がゆとりを持っていた。



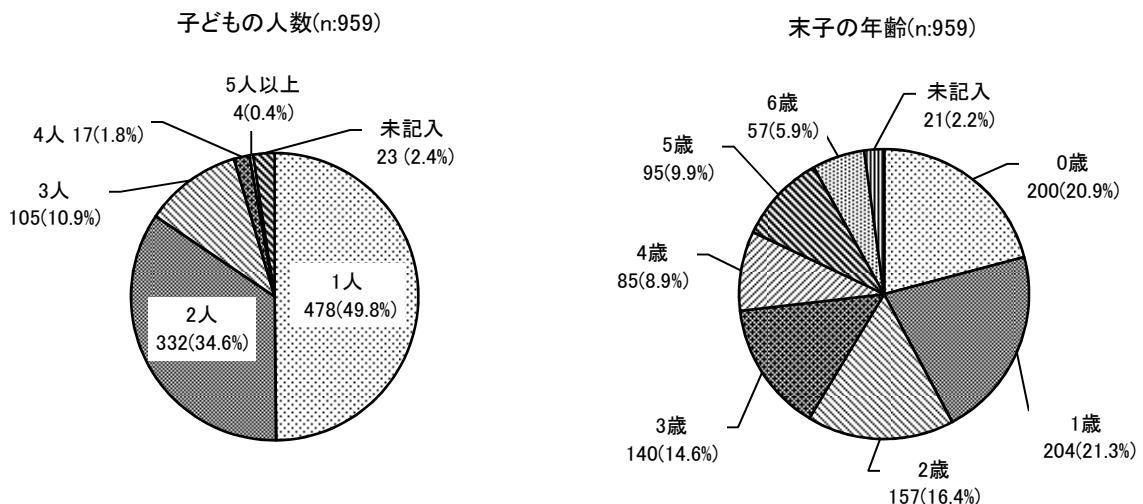
4)家族構成

家族構成に関しては、「3世代家族」は14.1%、「ひとり親家庭」が4.9%、「夫婦と子ども」は78.2%となっている。なお「ひとり親家庭」であっても、祖父または祖母と同居なら三世代として集計している。



5)子どもの状況

子どもの人数は、1人のみが49.8%と半数を占め、2人34.6%、3人10.9%、4人1.8%、5人以上0.4%となっている。末子の年齢は、0-2歳の家庭が58.6%となっている。長子（子供が2人以上いる家庭）の年齢は、半数以上（約52%）が6歳以下で、残りが7歳以上となっている。



子どもが2人以上いる家庭の長子の年齢

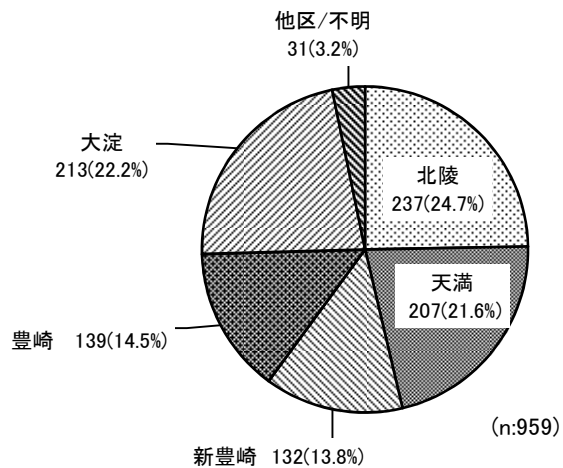
年齢(歳)	0	1	2	3	4	5	6	7	合計
件数	1	3	25	40	63	59	48	218	457
比率	0.2%	0.7%	5.5%	8.8%	13.8%	12.9%	10.5%	47.7%	-

※子どもが2人以上いる家庭は458件だが、内1件に子どもの年齢未記入があり、457件となっている。

お住いの状況について

1) 中学校区別の回答者の分布

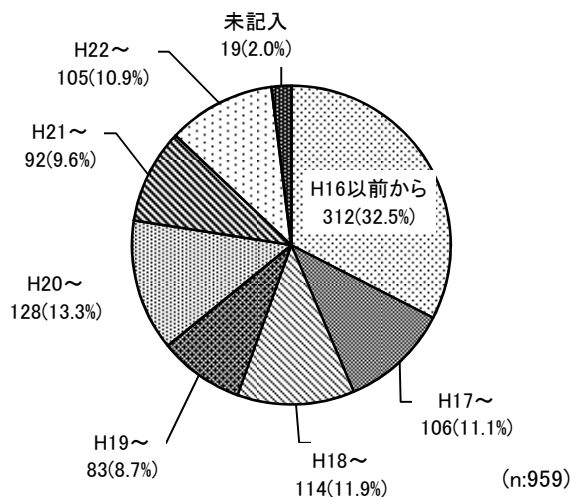
「北陵」「大淀」「天満」は25～21%、「豊崎」「新豊崎」は約14%であった。



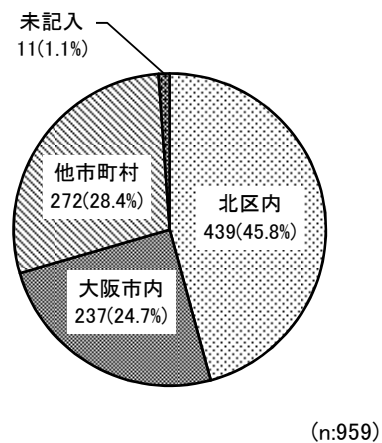
2) 現在の場所へのお住まいの時期

5年以内（H18～H22）に住み始めた家庭が54.4%を占めている。また現住地以前も北区に住んでいる家庭は45.8%であった。

現在のお住まいの場所は、いつからお住まいですか？
(平成16年以降の年度別)



現在のお住まいの前は、
どちらにお住まいでしたか？



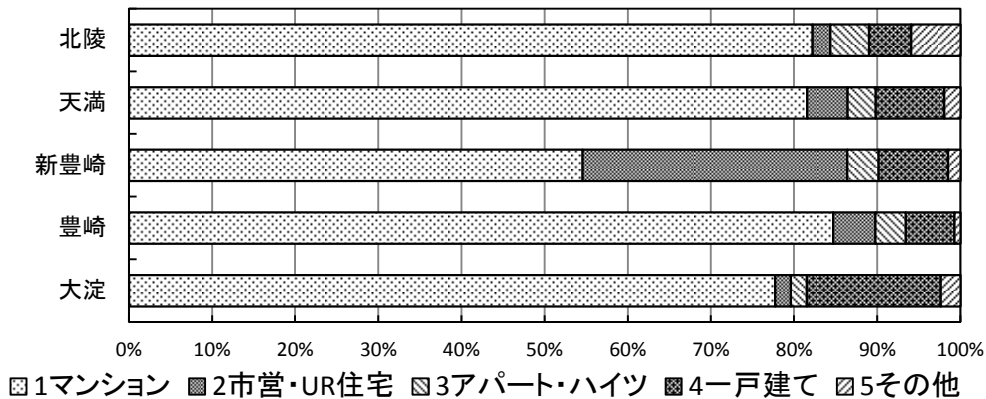
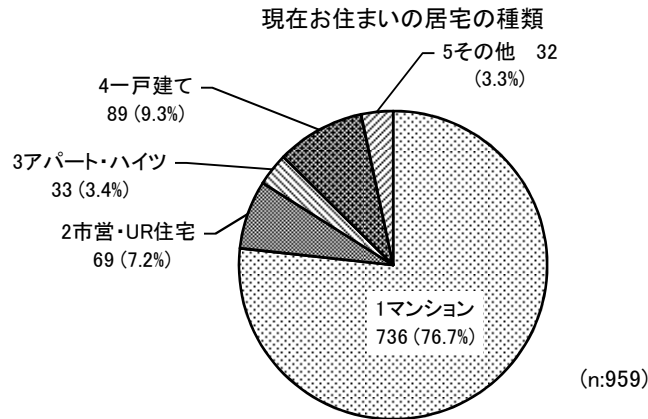
3) 居宅の種類

マンションが76.7%と3/4以上を占めており、次いで一戸建て9.3%、市営・UR住宅7.2%、アパート・ハイツ3.4%となっている。
 中学校区で見ると、大淀校区は「一戸建て」16.1%と新豊崎校区は「市営・UR住宅」が31.8%と北区平均より高いという特徴がわかる。

その他自由記入欄に、以下の記入があった。

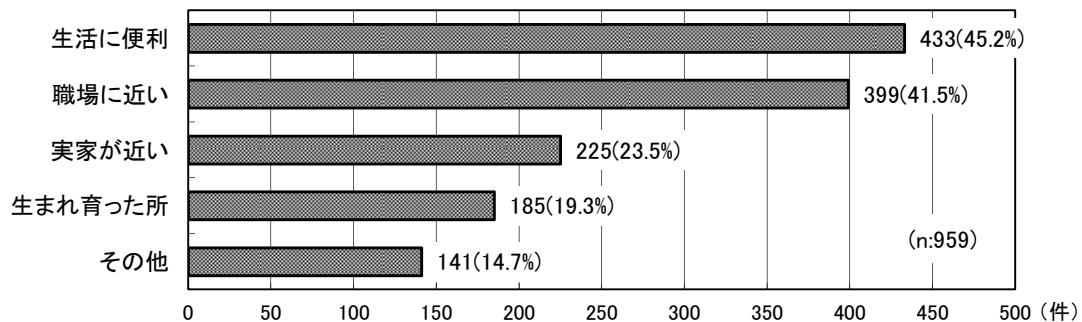
1 マンション
 2 市営・UR住宅
 3 アパート・ハイツ
 4 一戸建て
 5 その他

これらの中では、「社宅」が7件と多くみられた。



4) 北区を居住地に選んだ理由

「生活に便利」(45.2%)、「職場に近い」(41.5%)の順に多く、北区という土地柄の利便性を優先した方が多かった。また「実家が近い」は23.5%、「生まれ育った所」も19.3%となっている。

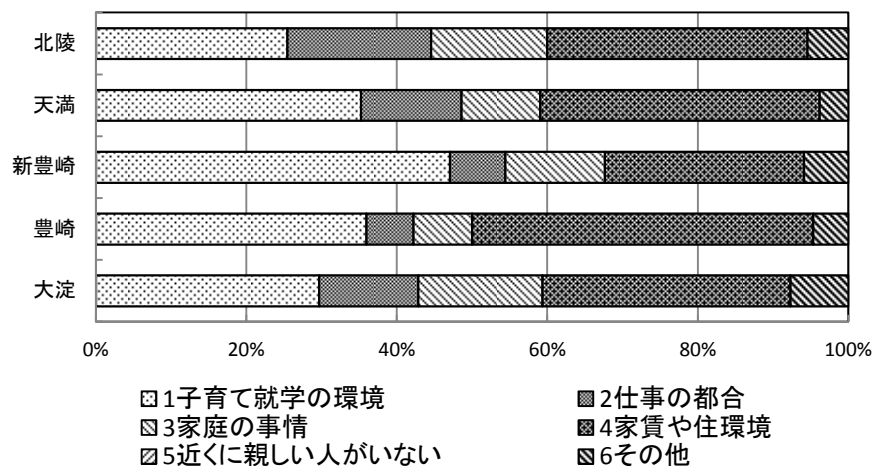
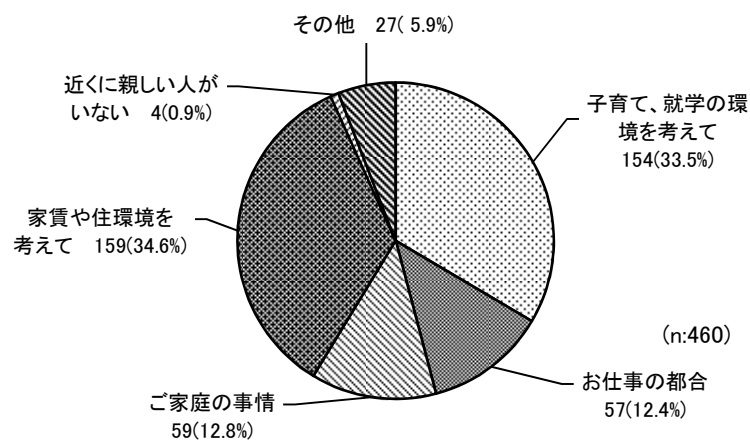


その他自由記入欄に、以下の記入があった。

・梅田に近い、交通の便がいい、近くに公園があるから。
・環境がいい、子育て就学環境から。
・住宅地域で緑や公園がたくさんあったから。
・治安が良い、校区の評判が良い。
・第一学区だから。
・主人が一度住みたかったらしい。
・家賃補助があったから。
・会社指定。
・実家近くがいいから。
・たまたま親類の持ち家が空いた。
・保育園ですっと一緒に居る友達と、同じ小学校に行きたいと言ったので。

5) 転居をお考えの理由

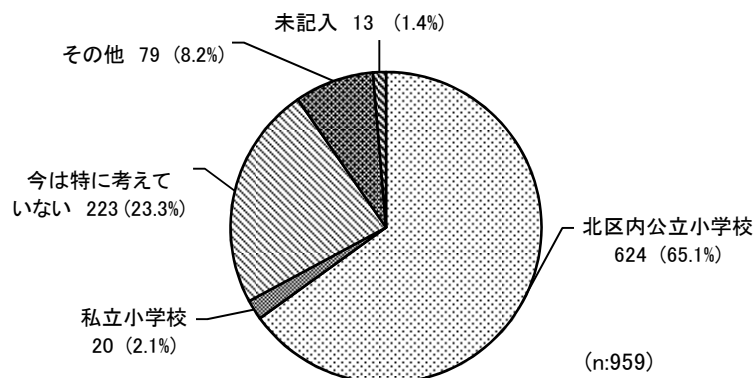
将来の転居を考えている方は、460件と回答者全体(959件)の約半数となっている。その理由としては「家賃や住環境」が34.6%、「子育て・就学の環境」が33.5%となっている。地域(中学校区)別では、北稜校区は「仕事の都合」、新豊崎校区は「子育て・就学の環境」、豊崎校区では「家賃や住環境」が、それぞれ他校区より高くなっていることがわかる。



その他自由記入欄に、以下の記入があった。

・両親の介護を考えているから、実家の両親が高齢のため。
・友人の近くがいい。
・実家近くがいいから。
・失業するので家賃の安いところへ、金銭面の事情。
・狭いから。
・同居を解消するから。
・自然豊かな場所で暮らしたい。
・自分の子どもの年齢、学校などを考えて。

6)お子さんの将来の進路について、お考えがおりますか？



その他自由記入欄に、以下の記入があった。

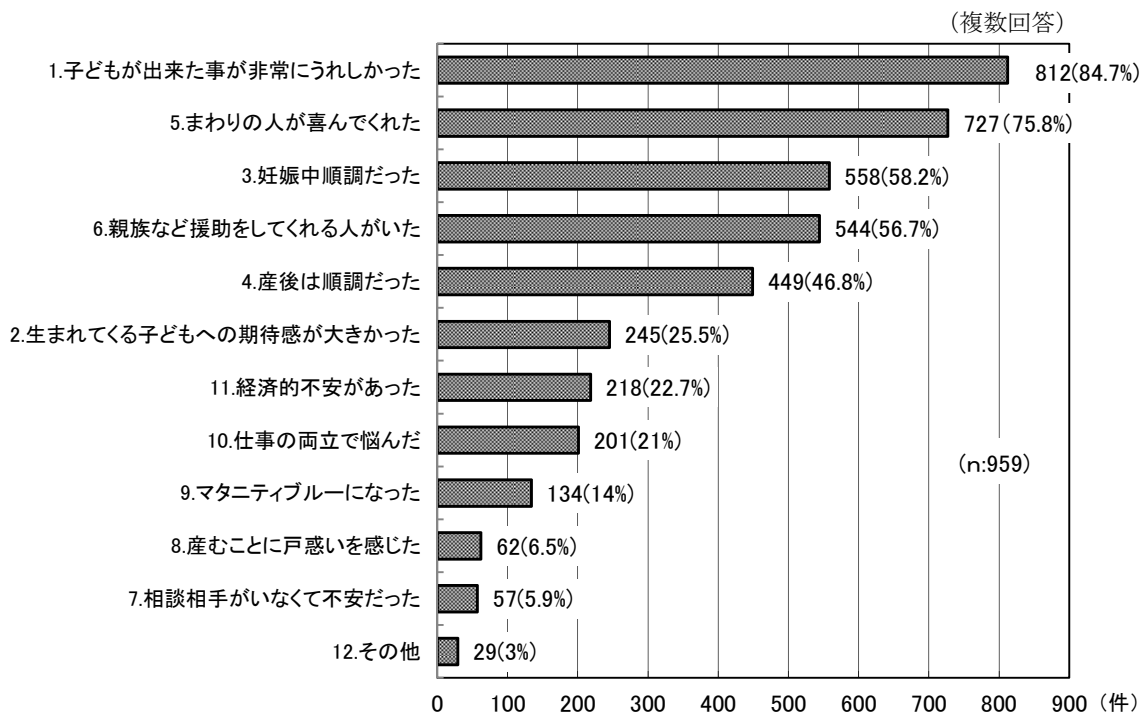
・北区の公立か国立小学校を希望。
・Uターンして地方での就学を考えている。
・転勤族のため未定。
・他地域で進学を考えている。
・もう少し田舎への引越しを考えているのでそちらでの進学にしたい。
・北区以外に引越し、そこで進学。
・勉強や運動について小学校レベルで格差がありすぎるので本当は学区の小学校には入れたくない。
・できれば他区の公立小学校へ進学させたい。
・中学校は他校区へ引っ越したい。
・小学校は公立ですが、中学はあまり良い話は聞かないので、私立等の受験を考えています。
・もっと子どもに環境の良い地域で、公立小学校に行かせたいと思います。
・北区は家賃が高いので、ずっと住むのは難しいが、便利なので迷っている状況。
・子供たちが安心して遊べる郊外への引越しを考えている。

2. 出産について

1) はじめてお子さんが出来た時、どのように思われましたか？

「非常にうれしかった」が84.7%、「まわりの人が喜んでくれた」が75.8%とあり、大半の人が自身の喜びとまわりの人の喜びの両方を感じている。「親族など援助してくれる人がいた」は56.7%となっており、半数以上の方は親族から何かしらの援助があったことがわかる。

その一方で「経済的な不安があった」(22.7%)、「仕事との両立で悩んだ」(21%)、「マタニティブルーになった」(14%)のように、悩みを抱えながらの出産であったことがわかる。



暮らし向き別の回答総数と比率

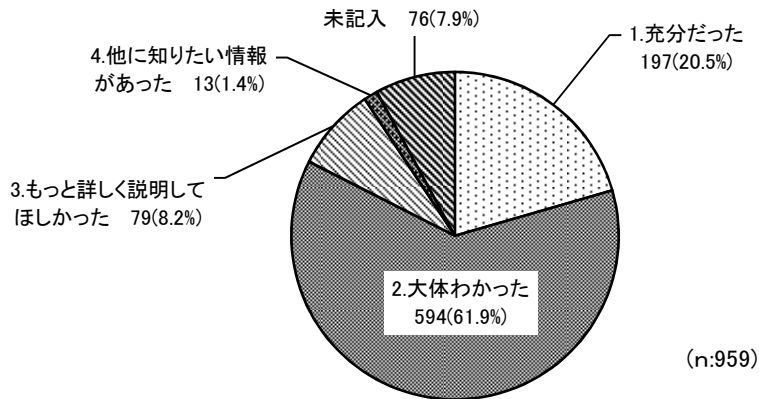
暮らし向き	総数	かとつがたにうきれしこ	子どもがうきれた	まわりの人が喜んでくれた	妊娠中順調だった	産後は順調だった	でまわりの人が喜んでくれた	親族など援助をうけた	不安だつた	相談相手がいなく	産むことに戸惑い	マタニティブルー	仕事との両立で悩	た経済的不安があ	その他
0未記入	47	23.4%	6.4%	14.9%	10.6%	17.0%	14.9%	0.0%	0.0%	4.3%	4.3%	4.3%	0.0%		
1非常にゆとりある	28	32.1%	7.1%	14.3%	7.1%	17.9%	10.7%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	3.6%	0.0%		
2ある程度ゆとりある	788	21.6%	6.5%	14.8%	12.4%	19.4%	15.1%	1.1%	0.9%	2.3%	4.4%	0.8%	0.6%		
3まあまあ	1665	20.1%	6.8%	13.9%	11.2%	19.0%	13.7%	1.1%	1.5%	3.3%	5.5%	3.2%	0.7%		
4少し苦しい	1011	18.3%	5.4%	14.0%	11.3%	16.8%	12.9%	1.9%	1.6%	3.8%	4.5%	8.9%	0.6%		
5かなり苦しい	497	20.5%	4.2%	11.3%	8.7%	15.1%	11.5%	2.2%	2.8%	4.2%	5.0%	13.1%	1.4%		

その他自由記入欄に、以下の記入があった。

- ・行政のサポートに不安があった。
- ・友達はまだ働いているので、遊ぶ時間が違って、会えなくてストレス発散が出来なくなった。

2)母子手帳をもらうときや出生時の、大阪市(北区)の情報や説明はどうでしたか？

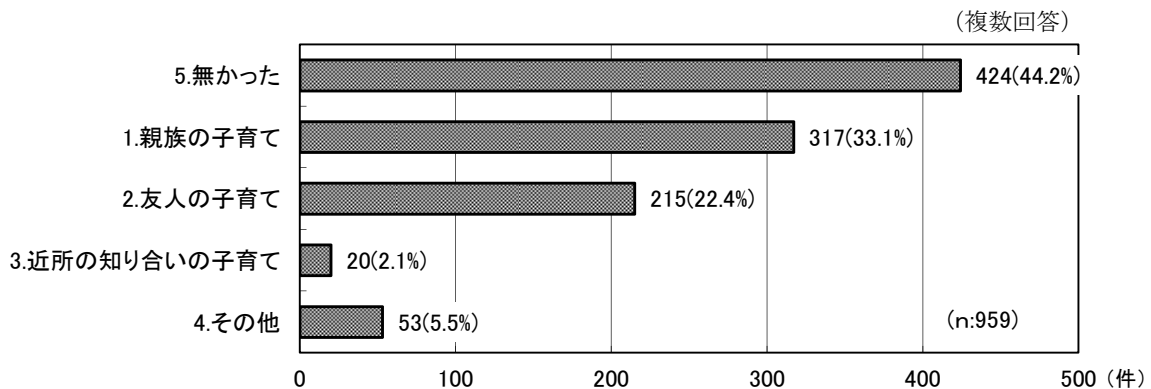
情報や説明に関しては、「充分だった」が20.5%、「大体わかった」が61.9%となっており、8割以上の方におおむね理解いただけているようであるが、1割近くの方は不便を感じている事がわかる。



3)はじめての出産までに、子育てを手伝ったり赤ちゃんに触れる機会がありましたか？

「赤ちゃんに触れる機会は無かった」の回答は44.2%にのぼり、未経験による様々な不安をかかえながらでの子育てであったと考えられる。

「機会があった」ケースでは、「親族の子育て」や「友人の子育て」の回答が多くなっている。「機会は無かった」回答を年代で見ると、「20代」「30代」より「40代」が高い比率であった。

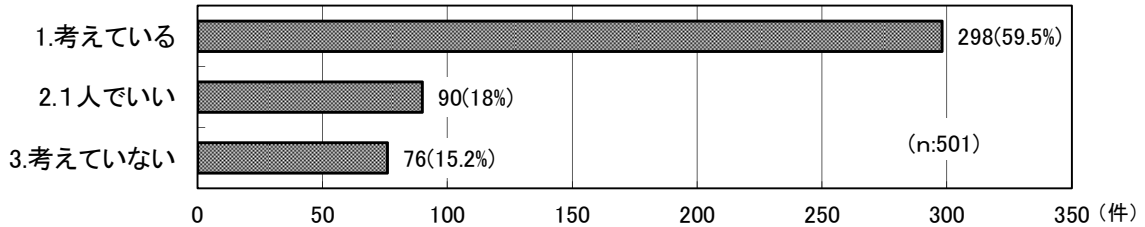


年代別の回答総数と比率

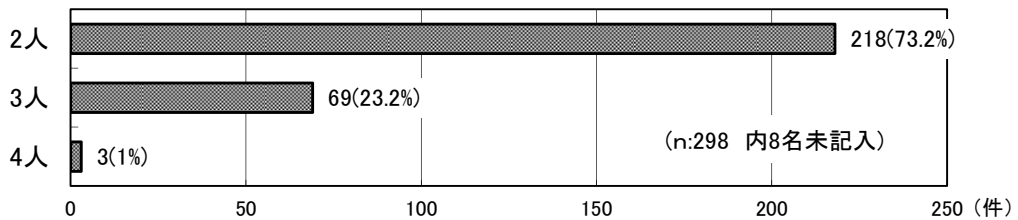
年代	総数	親族の子育て	友人の子育て	近所の知り合いの子育て	その他	無かった
年代未記入	68	32.4%	25.0%	0.0%	4.4%	38.2%
10歳代	6	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%
20歳代	123	29.3%	22.0%	2.4%	8.1%	38.2%
30歳代	680	31.9%	21.3%	1.9%	4.6%	40.3%
40歳代	152	26.3%	15.8%	2.0%	5.9%	50.0%

4)現在お子さんが1人のかたにおたずねします。2人目はお考えですか？

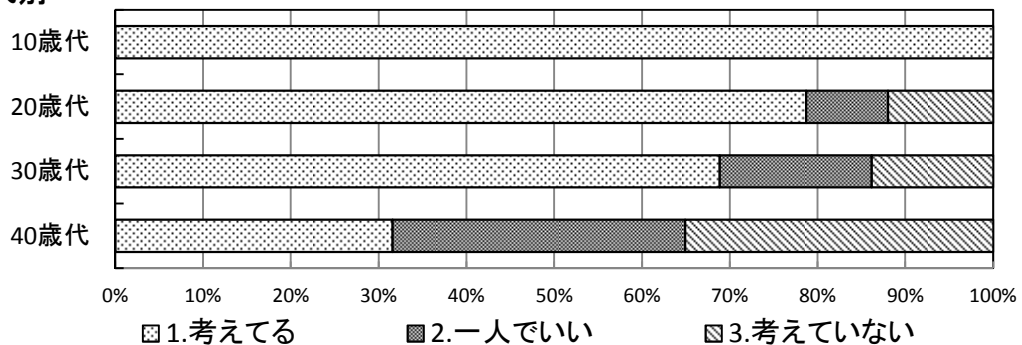
子どもが1人の方(501件)の内、約6割(298件)が2人目を考えていることがわかる。2人目を考えている方の中で、具体的に人数記入のあった287件のうち、2人という回答が218件で73.2%、3人が69件で23.2%となっている。
年代別に見ると、「2人目を考えている」比率は、20代が78.7%、30代が68.9%、40代が31.6%となっている。



(2人目をお考えのかたへ) できれば何人ほしいですか？



年代別



「1人でいい理由」自由記入欄に、以下の記入があった。

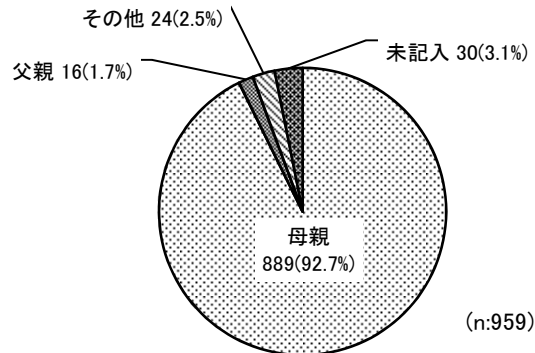
「1人でいい」と回答の方は、約2割の90件で、その中の理由で記入が多かったキーワードとしては、「経済的」が32件、「年齢」が27件であった。
他には「体力」「母子家庭」「生活」等があがっている。

・経済的に無理、年齢的にも出産・子育てに限界を感じる
・母子家庭なので。
・両親や子育てを手伝ってもらえる人がいない。 仕事復帰するので、いざというとき誰も助けがない。
・主人の協力が得られないから

3. 子育てについて

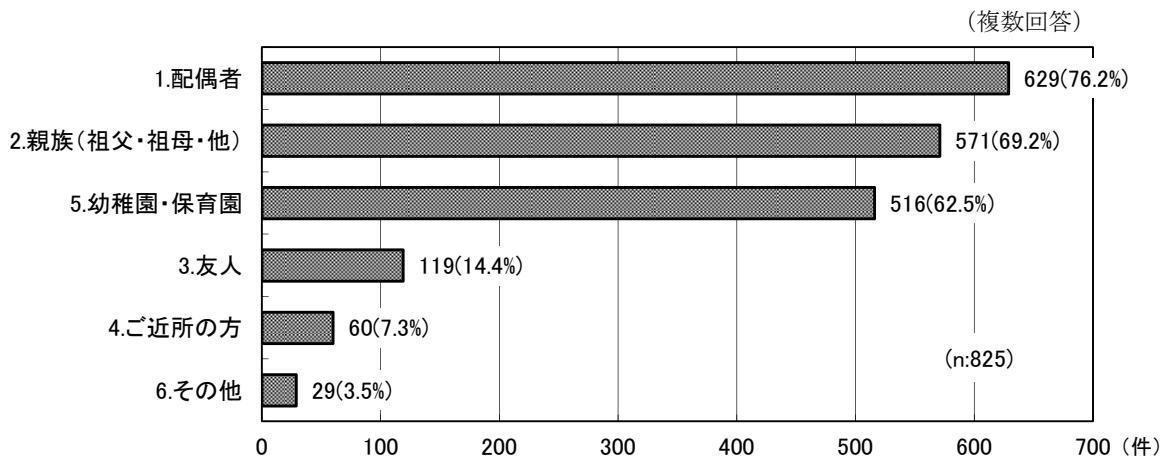
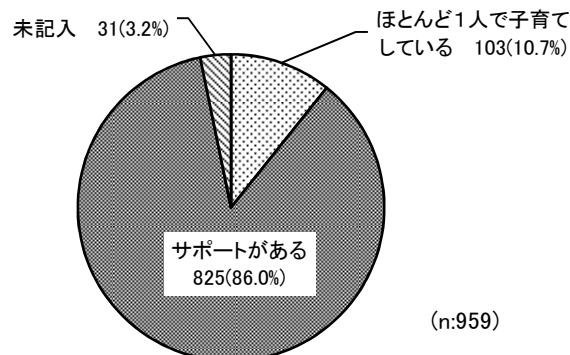
1) 今の子育ては、どなたが中心となっていてされていますか？

9割以上の家庭は、母親が中心となっていた。その他の回答の中では、「夫婦で一緒に」が多く、「祖父母」という回答もみられた。



2) どなたかのサポートがありますか？

「ほとんど1人で子育てしている」という回答は約1割であり、9割近く(86%)のご家庭では配偶者や親族などいずれかの「サポートがある」という回答であった。サポートの内訳として多いのが、「配偶者」と「親族(祖父・祖母他)」でいずれも7割を占めている。幼稚園・保育園と回答した方も6割にのぼり、サポート役として位置づけられている。



サポートの「その他」欄の記載が多かったのは、「ファミリーサポートセンター利用」に12件の回答があり、他は「歳の離れた兄弟」「ベビーシッター」「託児所」「ボランティア」「職場の方」という回答があった。なお「配偶者をサポートとは位置づけたくない」という意見もみられた。
 またサポートの内訳を、年代・暮らしぶり・家族構成で確認すると、ひとり親家庭では、幼稚園・保育園と同様に、親族のサポートを受けている方は、他の世代よりも多くなっている。

年代別の回答総数と比率

年代	総数	配偶者	親族	友人	ご近所の方	園 幼稚園・保育	その他
未記入	93	31.2%	33.3%	7.5%	3.2%	23.7%	1.1%
10代	12	16.7%	33.3%	16.7%	8.3%	25.0%	0.0%
20代	208	32.2%	32.2%	8.7%	1.4%	25.0%	0.5%
30代	1303	33.2%	29.5%	5.6%	3.1%	26.8%	1.8%
40代—	308	32.1%	27.6%	6.2%	3.9%	29.2%	1.0%

暮らし向き別の回答総数と比率

年代	総数	配偶者	親族	友人	ご近所の方	園 幼稚園・保	その他
0未記入	33	21.2%	27.3%	12.1%	12.1%	27.3%	0.0%
1非常にゆとりある	18	33.3%	11.1%	5.6%	5.6%	38.9%	5.6%
2ある程度ゆとりある	398	36.2%	30.2%	6.5%	2.3%	23.6%	1.3%
3まあまあ	813	35.1%	28.7%	6.5%	2.5%	26.1%	1.2%
4少し苦しい	450	30.4%	31.3%	5.6%	3.6%	26.9%	2.2%
5かなり苦しい	212	23.6%	31.1%	4.7%	4.7%	34.4%	1.4%

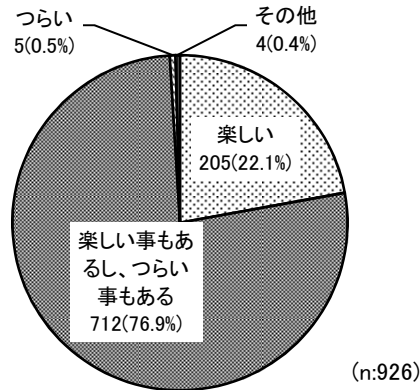
家族構成別の回答総数と比率

家族構成	総数	配偶者	親族	友人	ご近所の方	園 幼稚園・保育	その他
三世代	298	26.8%	37.6%	5.7%	3.7%	25.2%	1.0%
親子	1532	35.2%	27.7%	6.2%	3.0%	26.4%	1.5%
ひとり親	64	4.7%	40.6%	6.3%	1.6%	42.2%	4.7%
未記入	30	23.3%	26.7%	10.0%	6.7%	33.3%	0.0%

以下は、「子育てをしていて思ったことを教えてください。」

3)子育ては楽しいですか、つらいですか？

回答のあった926件の内、76.9%の方は「楽しいこともあるし、つらい事もある」と感じている。

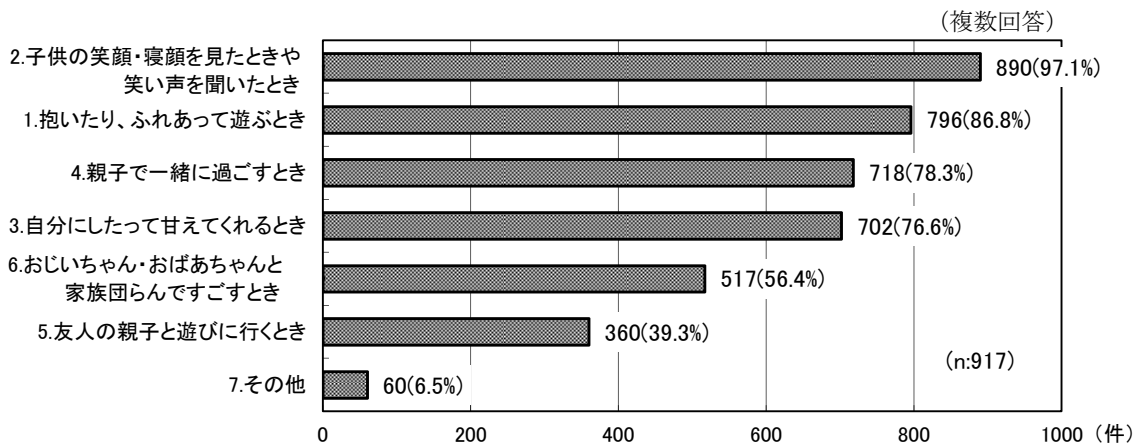


その他自由記入欄に、以下の記入があった。

・ 父親の帰りが遅いため、子どもが小さい時は少しくつかった。
・ 楽しい！やりがいがある！ つらいではなくしんどい時もある。 つらいという表現の仕方が重い。答えにくいです。答えが極端すぎる！！
・ 忙しすぎて自分の時間など取れないが、当たり前なんだと思いながら頑張っている。
・ 思い通りにならないのが子育てですが、ストレスがたまってしまうことがあります。

4)どんな時に「楽しい、楽しいこともある」と感じますか？

「子どもの笑顔・寝顔を見たときや、笑い声を聞いたとき」(97.1%)、「抱いたりふれあって遊ぶとき」(86.8%)、「親子で一緒に過ごすとき」(78.3%)、「自分に甘えてくれるとき」(76.6%)に約8割の人が感じると回答している。その他の記載では、「子どもの成長している姿を見た時」と答えている方が多くみられた。



その他自由記入欄に、以下の記入があった。

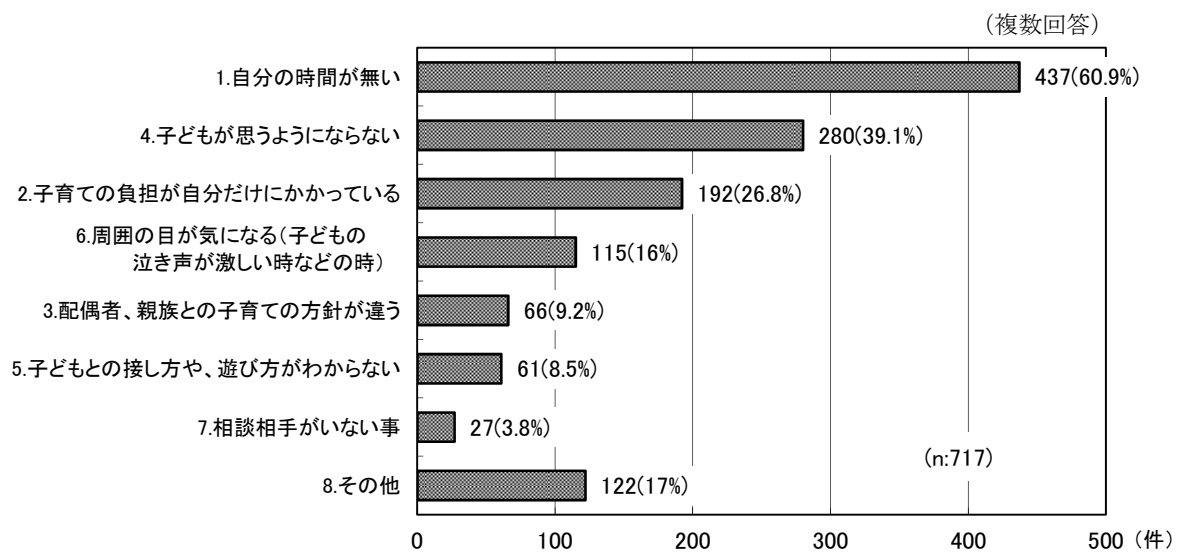
・子どもが1つずついろいろな体験をして、できるようになっていくのがうれしい。
・子どもの成長を見守る時。 子どもから思いやりのある優しい言葉を掛けてもらった時。
・私の作ったごはんをいつもたくさん食べてくれる時。 私のことを大好きと言ってくれる時。
・仕事で疲れているときに子どもが気遣ってくれたとき。

5)「つらい、つらい事もある」とは、どんな時にそう思いましたか？

回答が多かったものは「自分の時間が無い」(60.9%)、「子どもが思うようにならない」(39.1%)、「子育ての負担が自分だけにかかっている」(26.8%)、「周囲の目が気になる」(16%)となっている。

その他の記載で多かったのは、「子どもや自分が病気の時」「子どもが言うことを聞かない時」や「仕事との両立」「体力」「経済面」などのキーワードが多くみられた。

年代別にみると、20代においては「周囲の目が気になる」の回答比率が、30代40代よりやや高くなっており、家族構成で見た場合、ひとり親家庭では、「子育ての負担が自分だけ」の回答比率が高くなっている。



年代別の回答総数と比率

年代	総数	自分の時間が無い	子どもが思うようにならない	子育ての負担が自分だけにかかっている	周囲の目が気になる(子どもの泣き声が激しい時などの時)	配偶者、親族との子育ての方針が違う	子どもとの接し方や、遊び方がわからない	相談相手がいない事	その他
未記入	98	32.7%	19.4%	7.1%	19.4%	2.0%	10.2%	3.1%	6.1%
10代	2	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20代	154	32.5%	16.9%	8.4%	15.6%	3.9%	12.3%	3.9%	6.5%
30代	823	34.8%	13.5%	4.4%	23.1%	4.7%	8.4%	1.6%	9.6%
40代—	223	30.9%	16.1%	4.5%	20.6%	5.8%	7.6%	2.2%	12.1%

家族構成別の回答総数と比率

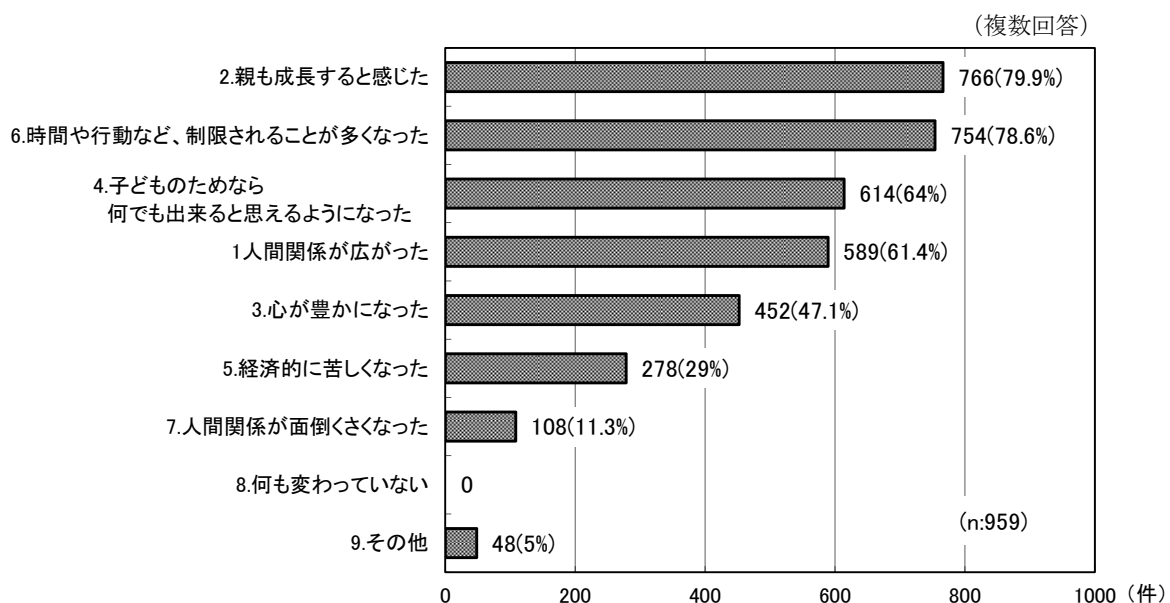
家族構成	総数	自分の時間がない	子育てにかかる負担が自分だけ	配偶者・親族との方針が違ふ	子供が、思うようにならない	あそびものがわからぬ	子どもの泣き声が激しい(どの時)	周囲の目になる(子どもの泣き声)	相談相手がない	その他
三世代	175	29.1%	13.7%	6.9%	21.1%	5.1%	9.7%	1.7%	12.6%	
親子	1035	34.8%	13.8%	4.9%	21.8%	4.6%	9.1%	1.7%	9.2%	
ひとり親	66	27.3%	28.8%	3.0%	18.2%	6.1%	3.0%	7.6%	6.1%	
未記入	24	33.3%	25.0%	4.2%	20.8%	0.0%	8.3%	4.2%	4.2%	

その他自由記入欄に、以下の記入があった。

<ul style="list-style-type: none"> ・もっといろいろなことをしてやりたいが、経済的に制約がある。相談窓口で思うように答えが見つからなかった時。
<ul style="list-style-type: none"> ・マンションなので騒音(飛び跳ねたり、走ったりなどの)で、住人のかたがたに迷惑をかけていないか気になります。
<ul style="list-style-type: none"> ・経済的に仕事も続けているため、子どもとの時間が減ることにつらいと感じています。
<ul style="list-style-type: none"> ・イヤイヤと言われた時は困ってしまいます。泣き声がひどいと、通報されないか不安になります。

6)子育てをすることで、「あなた」や「あなたの生活」がどう変わりましたか？

「人間関係が広がった」が61.4%、「親も成長すると感じた」が79.9%、「心が豊かになった」47.1%、「子どものためなら何でもできると思える」が64%等、子育てをプラスにとらえているかたが多い。また逆に物理的なマイナス面をとらえられているかたも多く、「時間や行動など制限される」が78.6%、「経済的に苦しい」が29%であったが、人間関係の広がりとともに「人間関係が面倒くさい」と考えている人も11.3%いることがわかる。

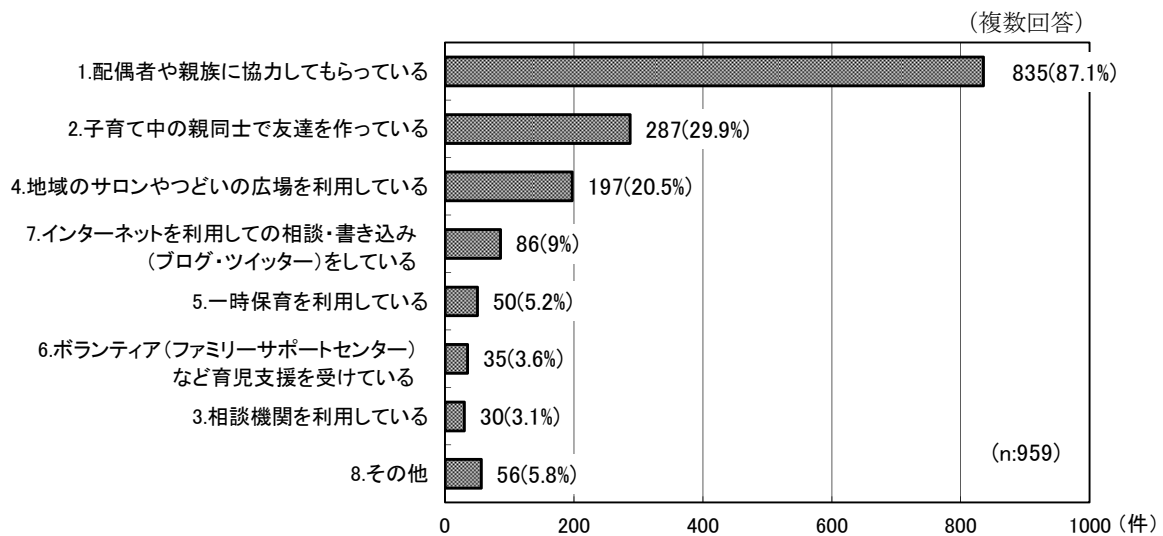


その他自由記入欄に、以下の記入があった。

- ・ 出かけた時ベビーカーを使って初めてバリアフリーの大切さや駅などのエレベーター設置の必要性等を感じた。すごく時間がかかってしまう。自分や子どもの将来のこと、生きていくうえで何が大切か、日本という国の状況と未来、世界の状況と未来、等など、今まで考えなかったことをよく考えるようになった。
- ・ 経済的に厳しく大変ですが、その中でも子ども達と笑顔で過ごせるように、節約しながら楽しく頑張ろうと思っています。子ども達が幼稚園や小学校に通うようになってから、保護者とのお付き合いの大変さがわかりました。
- ・ 時間や制限される事も多くなったが、時間を有効に使うようになった。
- ・ 自己を省みる機会が多くなった

7) 育児の不安を乗り越えるために、何か工夫されていることはありますか？

最も多いのは、「配偶者や親族に協力してもらっている」(87.1%)で、次いで「子育て中の親同士で、友達を作っている」(29.9%)、「地域のサロンやつどいの広場を利用している」(20.5%)であった。公共機関のサービスについては利用者は多くはないが、知っている人は必要に応じて利用している印象である。「地域のサロンやつどいの広場を利用」や「インターネットを利用したの相談や書き込み」は、「20代」の方の利用率が、30代・40代をやや上回っている。



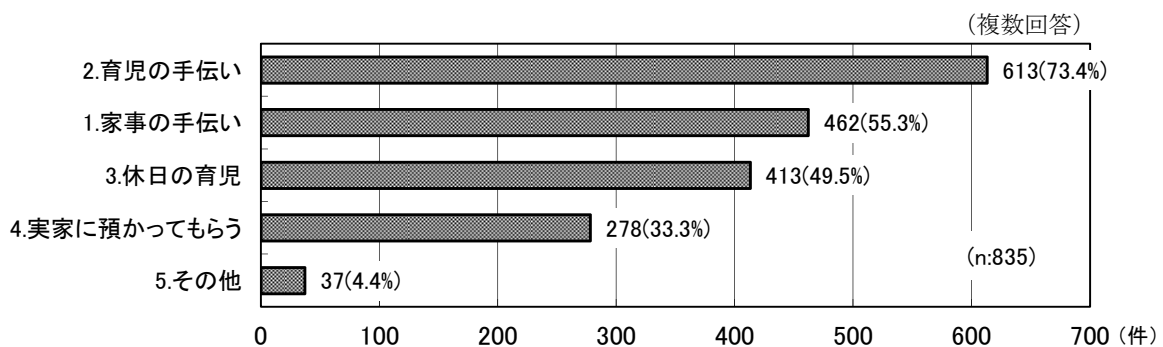
年代別の回答総数と比率

年代	総数	配偶者や親族に協力	子育て中の親同士で	相談機関を利用して	地域のサロンやつど	一時保育を利用して	インターネットを利用	その他
未記入	118	51.7%	21.2%	0.8%	13.6%	1.7%	1.7%	5.9%
10代	6	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
20代	195	49.2%	15.4%	1.0%	19.0%	3.1%	0.5%	9.7%
30代	1032	53.5%	19.1%	2.2%	12.2%	3.6%	1.8%	4.7%
40代	225	54.2%	15.1%	1.8%	8.0%	2.2%	5.8%	4.9%

その他自由記入欄に、以下の記入があった。

- | |
|--|
| ・インターネットで同じ悩みを持つ母親のブログを見るなどして、自分ひとりではないことを確認して平静を保っている。 |
| ・仕事をする。休みをつくって1人の時間を確保する。 |
| ・赤ちゃんのときはほぼ毎日、子育てプラザや子育てセンターでママ友たちと遊んだり、プラザの保育士さんに相談したり、サークルを作ったりしていた。 |
| ・小学校、保育園に通っているので何かあれば先生達に相談しています。 |

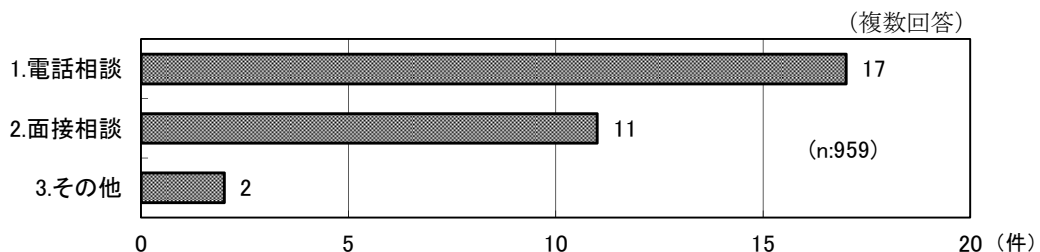
また「配偶者や親族に協力してもらっている」の回答の中では、「育児の手伝い」の73.4%が最も多く、次いで「家事の手伝い」が55.3%、「休日の育児」が49.5%となっており、「実家に預かってもらう」が33.3%であった。



「何を協力してもらっていますか？」その他自由記入欄に、以下の記入があった。

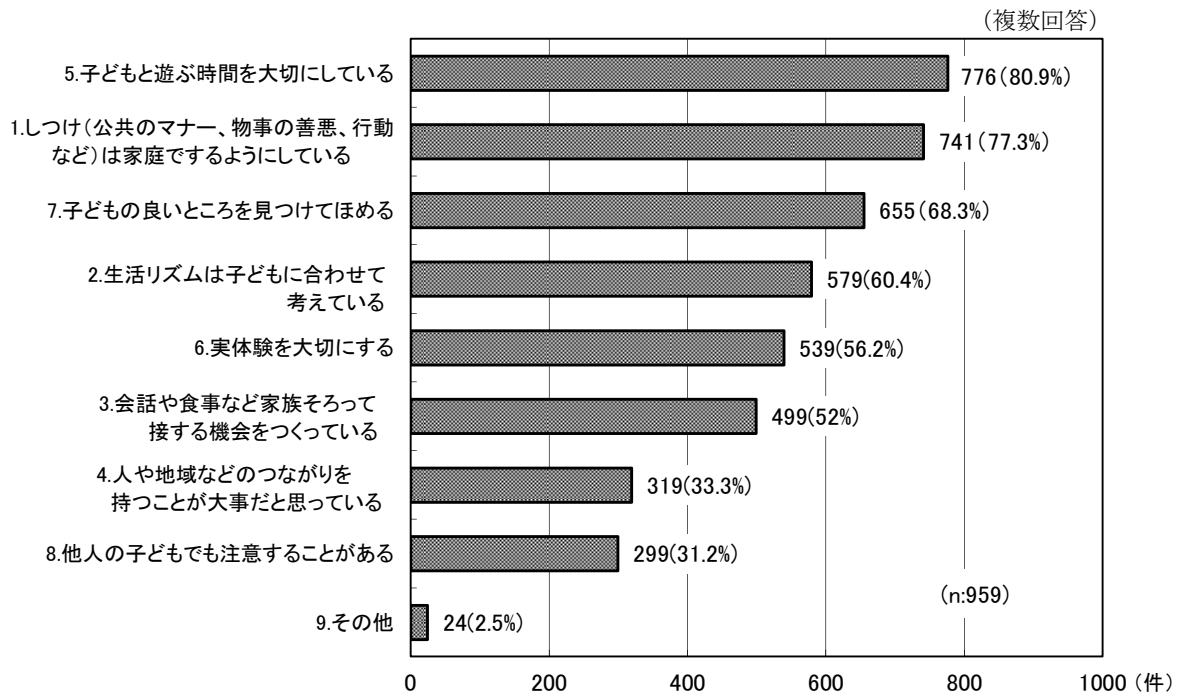
- | |
|--------------------------------|
| ・子どもが病気になった時に、仕事が休めず協力してもらっている |
| ・家事がおろそかになっても文句を言わない |
| ・夫に子どもを預けて、1人でお茶を飲みに行く。 |
| ・父親が出来ることはすべてしてもらっています。 |

なお相談機関の利用に関しては、全回答の中で約3%(30件)の利用であった。

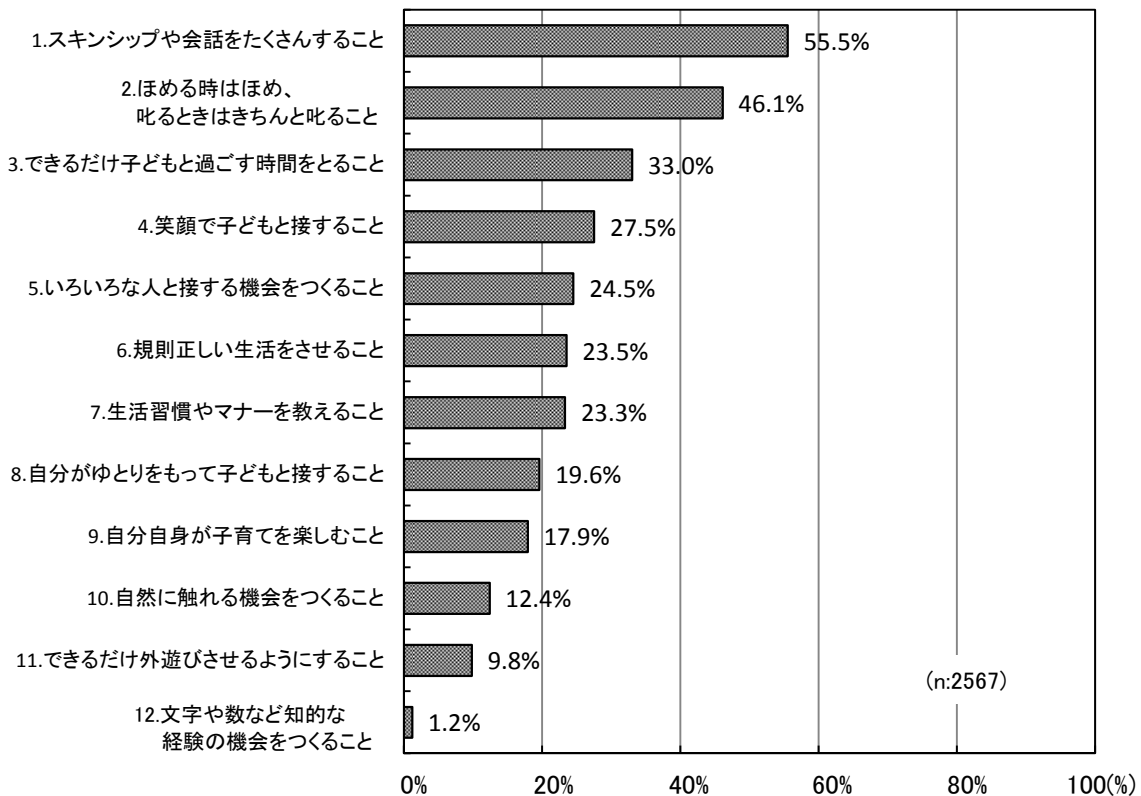


8)子育てで大事にしていることはありますか？

回答で多いのは、「子どもと遊ぶ時間」が80.9%、「しつけは家庭でする」が77.3%となっており、全般的にしっかりとした考えを持って子育てをされていることがうかがえる。



(参考：全国社会福祉協議会、平成19年度「地域子育て家庭のニーズの状況」)



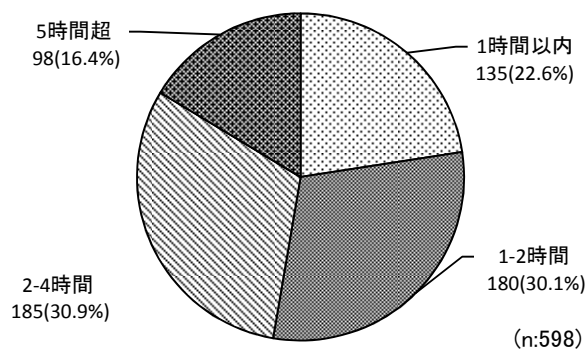
その他自由記入欄に、以下の記入があった。

<ul style="list-style-type: none"> ・ネットでブログやコメントを通じて、1人じゃないって思える。日々だれかはそばにいないけれど、ネットなら誰かが答えてくれる。地元の友人とか。
<ul style="list-style-type: none"> ・常に話しかけるように心がけている。
<ul style="list-style-type: none"> ・言葉遣いなど、人に対する思いやりを大切にする。
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに否定的なことを言わないように心掛けている。子どもに言葉や態度で愛情を表現するようにしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・人との関わりを大切にしてほしいと思っている。だから私は子どもの友達が家に来て、喜んで帰ってもらえるように考えている。それはいろいろな話もして関わりを持っているの中で「自分だけ良かったらいいんじゃない」ということを子どもに伝えている。

「人や地域とのつながりを持つ事が大事」お住まいの地域・ご近所、学校・園とのかかわりの自由記入欄に、以下の記入があった。

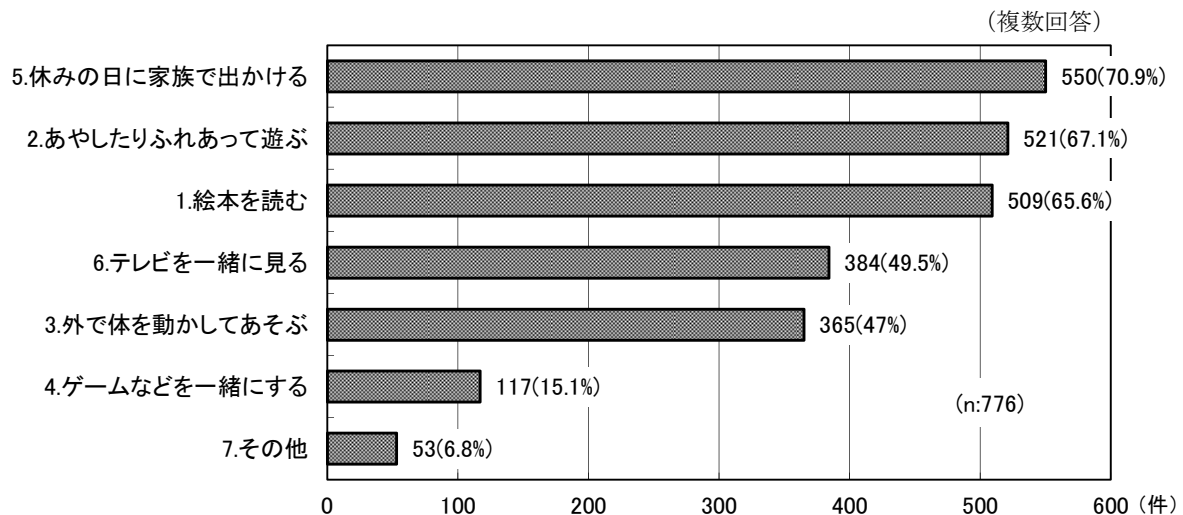
<ul style="list-style-type: none"> ・うちの地域ではお餅つき大会や夏祭りなどマンション内であるので、おじいさんおばあさんから小さい子どもまで自由に参加でき、触れ合う時間が多い。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事への参加、自治会にも積極的に参加、園のPTAにも参加。
<ul style="list-style-type: none"> ・町会旅行、祭り、学校キャンプ、PTAソフトボール、行事への参加。
<ul style="list-style-type: none"> ・同心にこここ、キッズプラザ、親子教室、毎日朝、夕も出かけています。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事には時間の許す限り参加し、あいさつは人とのかかわりの中で一番大切だと思うので、私が手本になり、進んであいさつするようにしている。子どももまじめにあいさつできるようになっている。

「子どもと遊ぶ時間を大切にしている」と回答した方の、1日平均の遊ぶ時間は、1日2時間以内という方が、おおよそ半分(53.7%)となっている。



「子どもと遊ぶ時間を大切にしている」の中で、実際に何をしているかを見てみると、最も多いのが「休みの日に家族で出かける」の70.9%となっており、日常空間から離れたところでの子育ても、とても重要な事としてとらえられている。2番目以降は日常生活の中で行われる、「あやしたりふれあって遊ぶ」が67.1%、「絵本を読む」が65.6%、「テレビを一緒に見る」が49.5%、「外で体を動かして遊ぶ」が47%となっている。

また末子の年齢別に見た場合、お子さんの年齢が上がるほど、「ゲームなどを一緒にする」機会が増え、それにつれ「あやしたりふれあったり」が減っている。



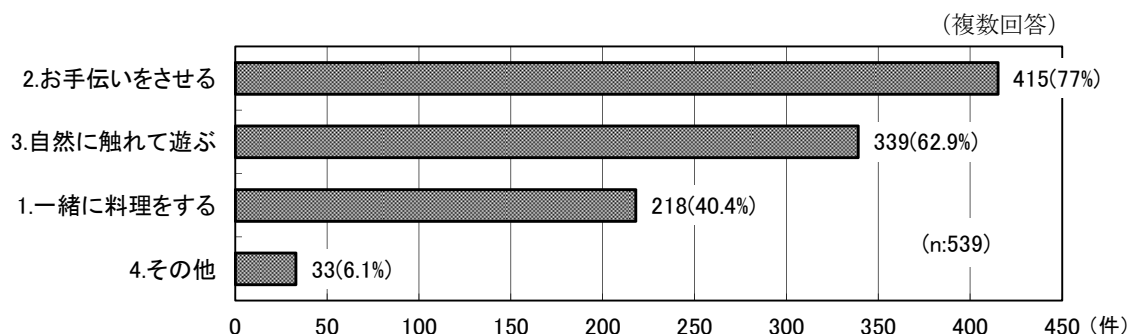
末子の年齢別の回答総数と比率

末子の年齢	総数	絵本を読む	あやしたりあそびふれ	外で体を動かす	ゲームなどを一緒にする	休みの日家族で出かける	テレビを一緒に見る	その他
0歳	502	20.3%	29.5%	11.2%	3.6%	21.5%	12.0%	2.0%
1歳	553	21.0%	23.5%	16.8%	1.4%	20.1%	15.4%	1.8%
2歳	434	20.5%	19.6%	15.9%	3.9%	22.4%	15.2%	2.5%
3歳	385	21.6%	17.9%	16.9%	4.4%	21.6%	16.1%	1.6%
4歳	213	19.2%	15.0%	15.0%	7.0%	24.4%	16.4%	2.8%
5歳	233	19.7%	12.0%	13.3%	9.0%	24.0%	19.7%	2.1%
6歳	121	19.0%	11.6%	10.7%	14.9%	24.0%	16.5%	3.3%

「子どもと遊ぶ時間を大切にしている」その他自由記入欄に、以下の記入があった。

・仕事の時はあまり時間が取れないので、着替え・お風呂・寝る時も遊ぶ様に。
・仕事で保育園へ迎えに行き、帰るともう7時のため、ゆっくり遊ぶことが少ない。寝る前くらいである。
・図書館もよく利用しています。家事の合間をみては子どもと一緒に過ごしています。
・今日有った出来事をみんなで話すようにしています。
・現在仕事をしているので殆ど遊ばせん。子どもにはお金の大切さをしっかりと話しています。

「実体験を大切にしている」の中では、「お手伝いをさせる」が77%、「一緒に料理をする」が40.4%と、家庭生活の中での体験をあげる人が多い。また「自然に触れて遊ぶ」の回答も62.9%と多くみられた。

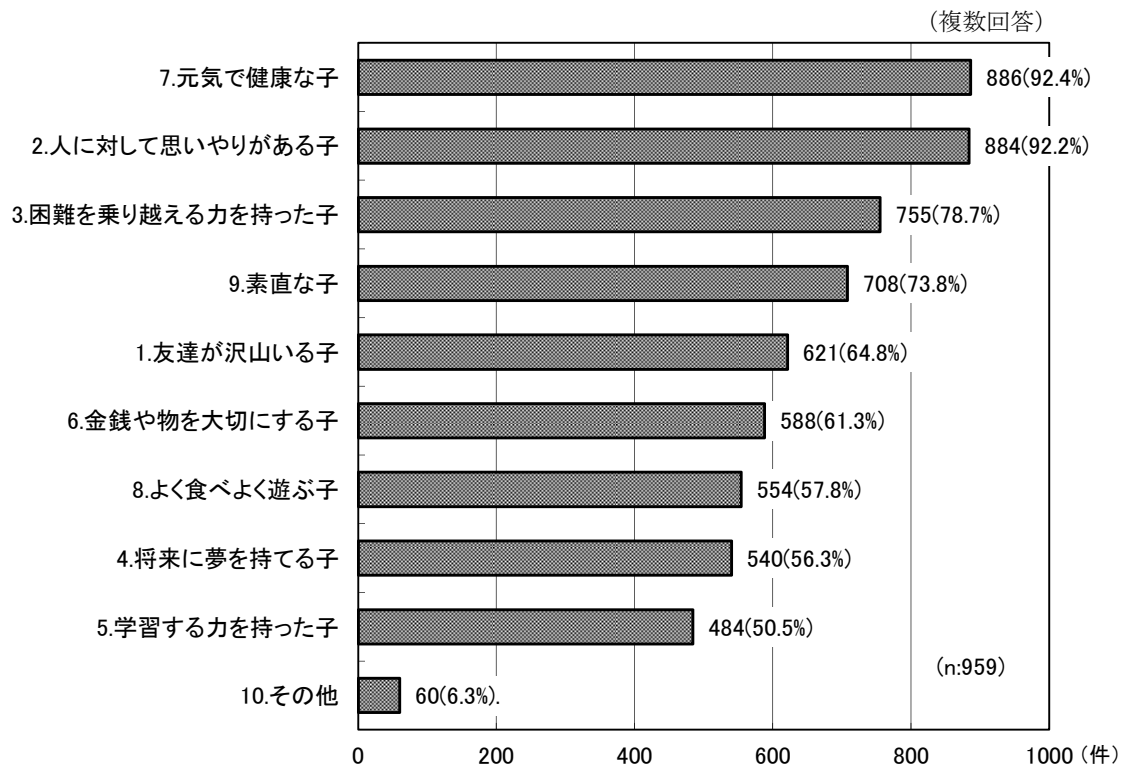


「実体験を大切にしている」その他自由記入欄に、以下の記入があった。

・実家の農作業を体験させる。
・何でも買わずに工作して空想させる。
・子どもがあまり行かないであろう場所にも積極的に連れて行き、大人と同じように扱う。
・淀川の土手に行き、芝の上をはいはいさせたり、飛行機や電車をながめたり、ほとやすずめなども見ます。雨の日も、ベランダに出てみたり、かさをかぶり雨の音を楽しんでいます。
・芸術的なものにふれる。
・お店をしているので、一緒にしごとしたりしている。
・魚釣り、味噌作り、パン作り、塩作り。
・今年の夏はベランダでトマトを育てたりめだかを飼育し、ふ化させるなどして水やりエサやりの仕事も与えさせました。
・猫と生活する。ペットの世話。
・虫取りなどをし、虫を触らせたりする。
・妹のお世話。
・興味をしめす事にはチャレンジできるようにする。
・電車を見に行く、動物園や博物館見学。
・休日は出来るだけ家に居ないで外に出かけます。風に触れ、外でお弁当もいいです。自然が一番。
・折り紙やはさみ、のり、テープ、マジック、コピー用紙を好きなように使って工作させている。

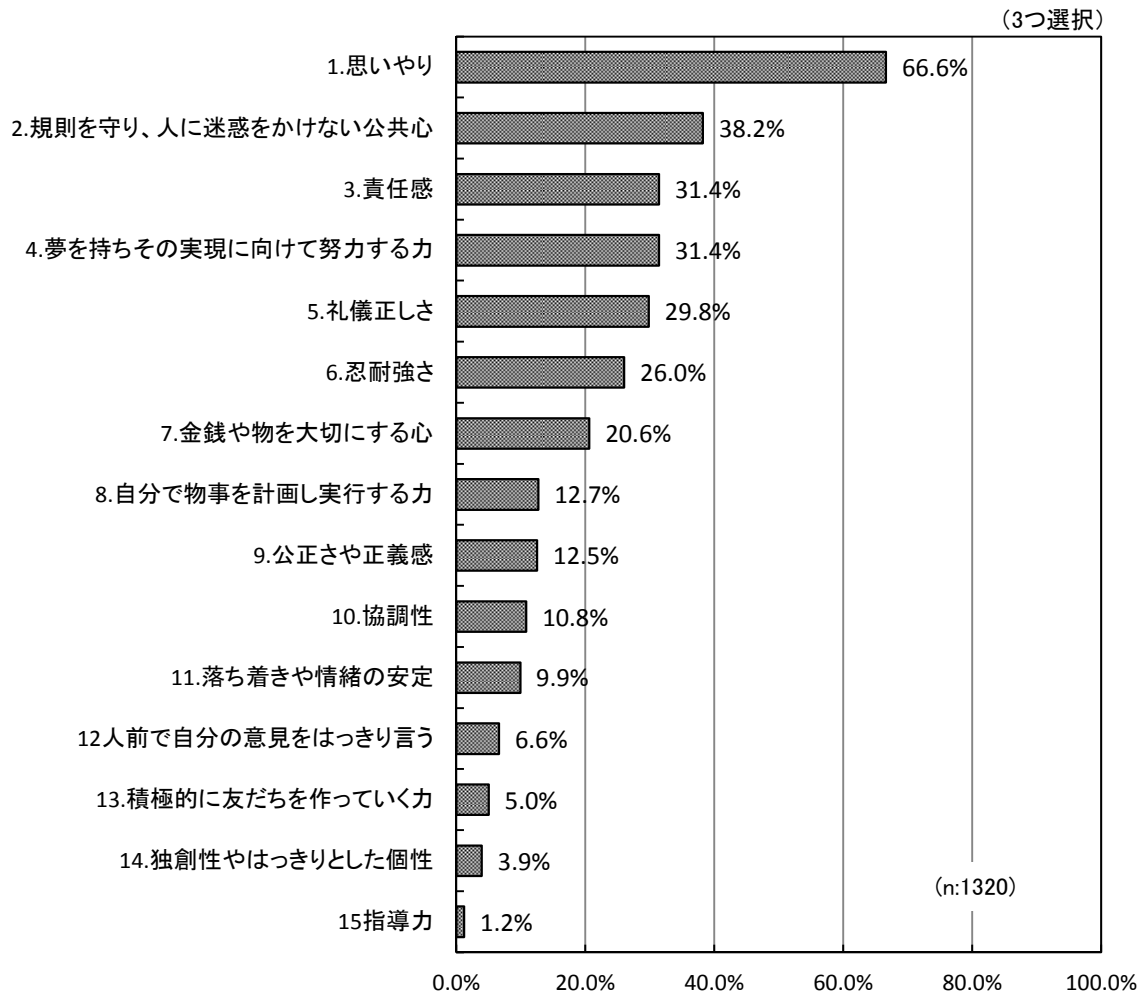
9)どんな子どもに育ってほしいですか？

いずれの項目も50%以上の回答であった。70%以上の回答があったのは、「元気で健康な子」(92.4%)、「人に対して思いやりがある子」(92.2%)、「困難を乗り越える力を持った子」(78.7%)、「素直な子」(73.8%)となっており、目の前の金銭や物ではなく、「思いやり、困難を乗り越える、素直」等の内面を重視している事と、それを支える「元気で健康」という期待を持っていることがわかる。



(参考：平成19年度大阪市「こどもの育成について」の世論調査報告書)

あなたは未来を担う子どもたちに、どのような力を身につけてほしいと思いますか。



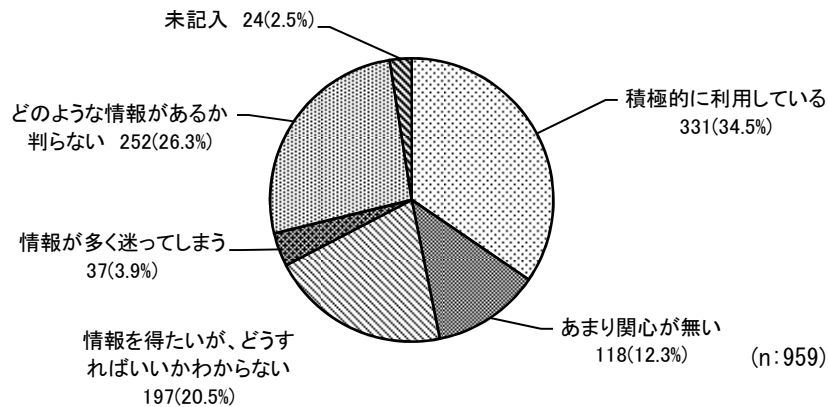
「どんな子どもに育ててほしいですか」その他自由記入欄に、以下の記入があった。

・人に迷惑をかけない子
・つらい時や困ったときに周囲に相談できる子
・善悪の判別がつく子、流されない子、危険を察知するのが早い子
・今は恵まれた時代。娘も祖父母にいろいろ買ってもらいますが本当に大きくなって も大事にものを扱いお金も大切に使ってほしいです。1番は元気で健康。
・本当に信頼できる親友ができる子。小さな事でも常に目標が持てる子。
・人の心の痛みがわかる子。悪いことは悪いといえる子。
・自分の好きなようにしてほしい。親より先に死なないでほしい。
・物を粗末にして、平気な子にはなってほしくない。ただ惜しまず、人に必要なら出 せる大きな子に育ててほしいと思う。困っている人を放っておけない子に育ててほ しいと思っている。

4. 子育て情報について

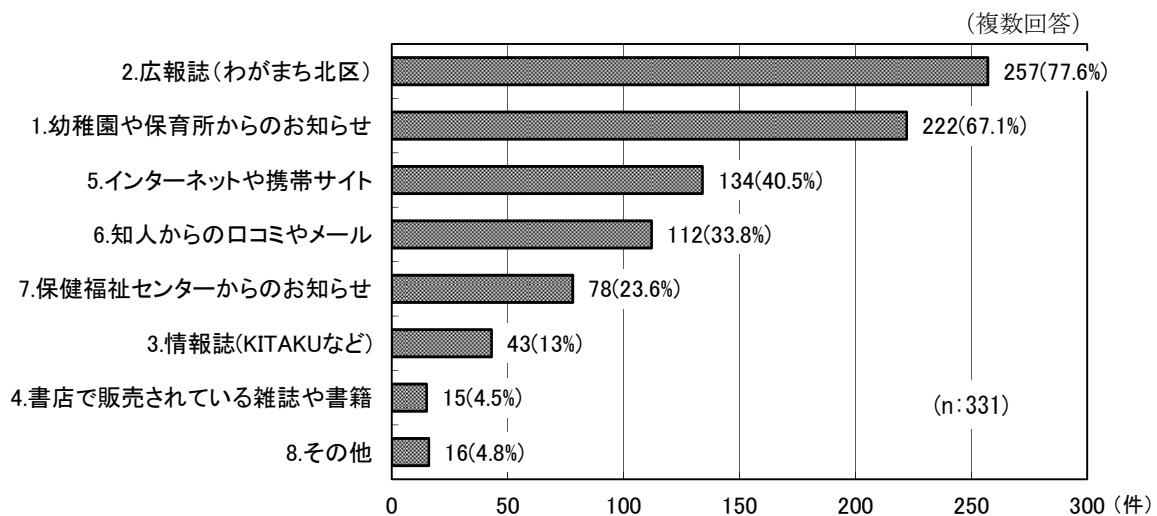
1)子育て支援に関するいろいろな役立つ情報が、大阪市から発信されていますが、あなたはどのように利用されていますか？(いずれか1つに○)

「積極的に利用している」は34.5%、「あまり関心がない」が12.3%となっている。利用方法がわからないという意味合いの3項目については、「情報を得たいがどうすればいいかわからない」が20.5%、「情報が多く迷ってしまう」が3.9%、「どのような情報があるかわからない」が26.3%で、合計では半数以上となっており、情報の整理・周知の必要性が感じられる。



2)どのような方法で情報入手されていますか？

情報収集については、「広報誌（わがまち北区）のお知らせや情報コーナー」が77.6%、「幼稚園や保育所からののお知らせ」が67.1%、「保健福祉センターからののお知らせ」が23.6%、「情報誌（KITAKUなど）」が13%となっており、全体的に子育てに忙しいせいか、どちらかというと受身的な情報収集が多いようである。また「インターネットや携帯サイト」は40.5%、「知人からの口コミやメール」も33.8%となっており、双方向にコミュニケーションがとれるものも利用されている。



情報収集について年代別にみた場合、30代40代の方は「広報誌わがまち北区」や「幼稚園や保育所からのお知らせ」をよく利用している。

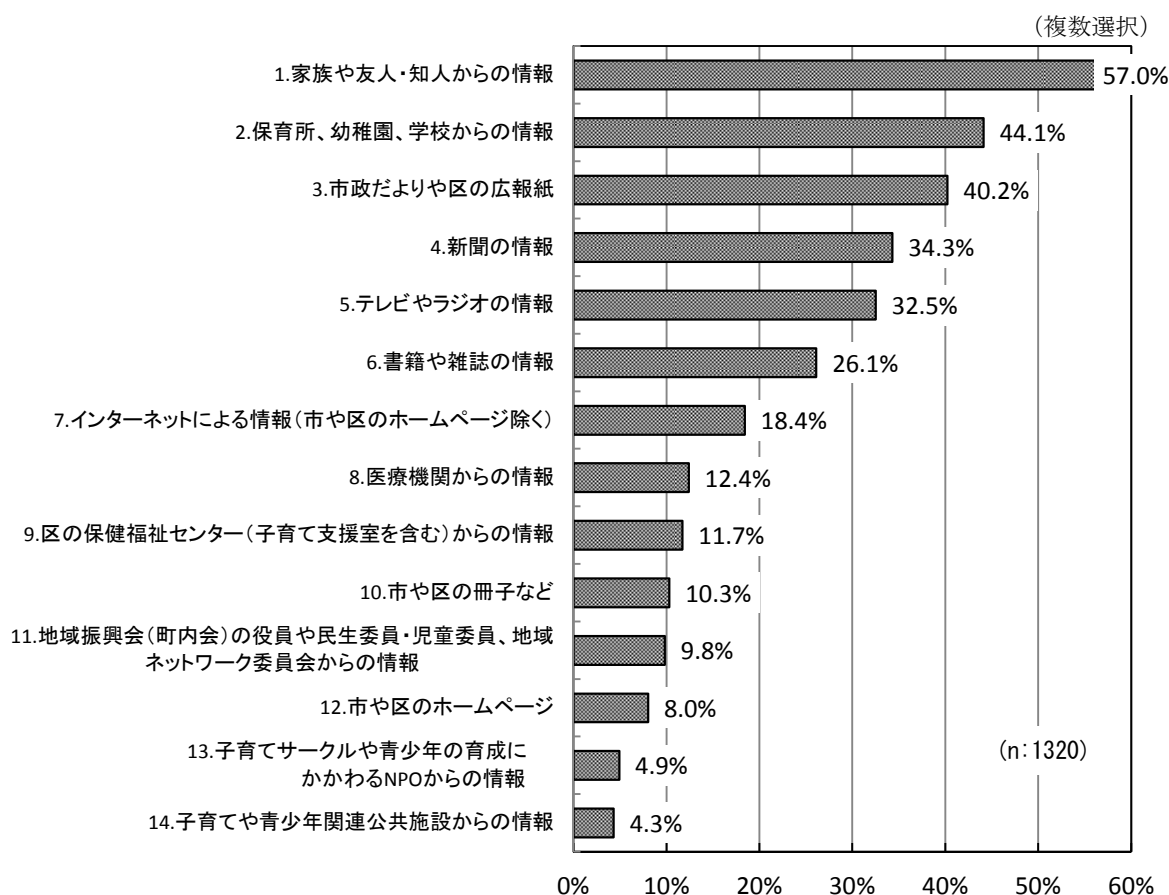
20代の方は、「情報誌(KITAKUなど)」、「知人の口コミやメール」、「インターネットや携帯サイト」、「保健福祉センターからのお知らせ」の利用比率が高くなっている。

年代別の回答総数と比率

年代	総数	幼稚園や保育所からのお知らせ	広報誌わがまち北区	情報誌「KITAKUなど」	書店の雑誌や書籍	携帯サイトやインターネット	知人の口コミやメール	保健福祉センターからのお知らせ	その他
未記入	58	22.4%	25.9%	3.4%	1.7%	19.0%	13.8%	10.3%	3.4%
20代	116	14.7%	26.7%	11.2%	2.6%	17.2%	14.7%	11.2%	1.7%
30代	578	26.1%	29.4%	4.2%	1.9%	14.9%	13.1%	8.7%	1.7%
40代一	125	32.8%	32.8%	3.2%	0.0%	13.6%	8.8%	7.2%	1.6%

(参考：平成19年度大阪市「こどもの育成について」の世論調査報告書)

子育てや子どもの育成についての情報や知識を得る上で、役立っていると思うものは？



上記「こども育成について」の世論調査と比べてみた場合、「家族や友人知人からの情報の口コミ」が世論調査では57%と高かったが、今回の調査では約34%程度と低くなっている。逆に「幼稚園・保育所からのお知らせ」、「広報誌」、「インターネットの情報」は、今回調査の方がポイントが高くなっている。

3)携帯電話は、通話以外で1日何時間くらい利用されていますか？

携帯電話の利用については、ほとんど(9割以上)の方が「通話以外」でも利用もしている。また利用時間については、「1時間以内」が71.3%と一番多く、「2時間以内」が11.2%、「2時間超」が6.6%となっている。

通話以外の利用方法について、「メール」が95%、「写真を撮る」が60.5%、「インターネット」が50.7%となっている。

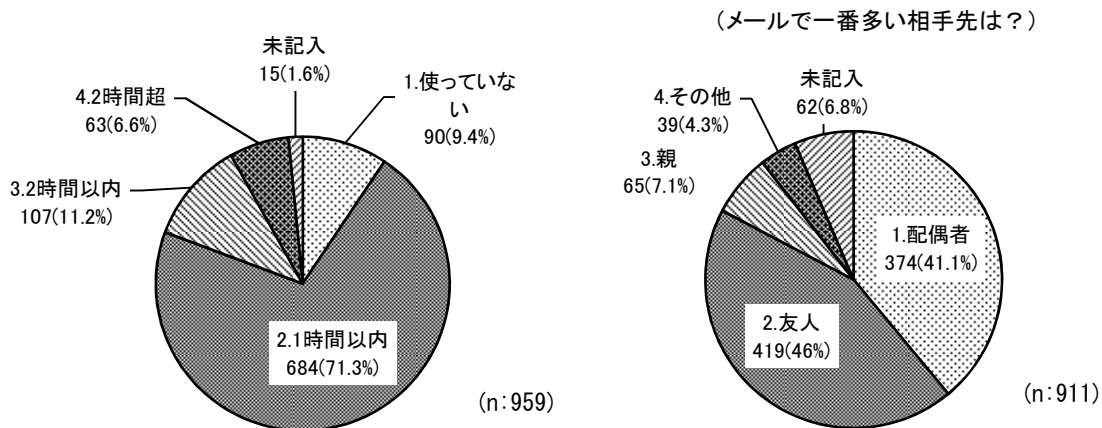
「携帯電話の通話以外での利用方法」その他自由記入欄に、以下の記入があった。

- ・ゲーム、ブログ、動画、メモ帳、予定表、おさいふケイタイ、FMラジオ等。

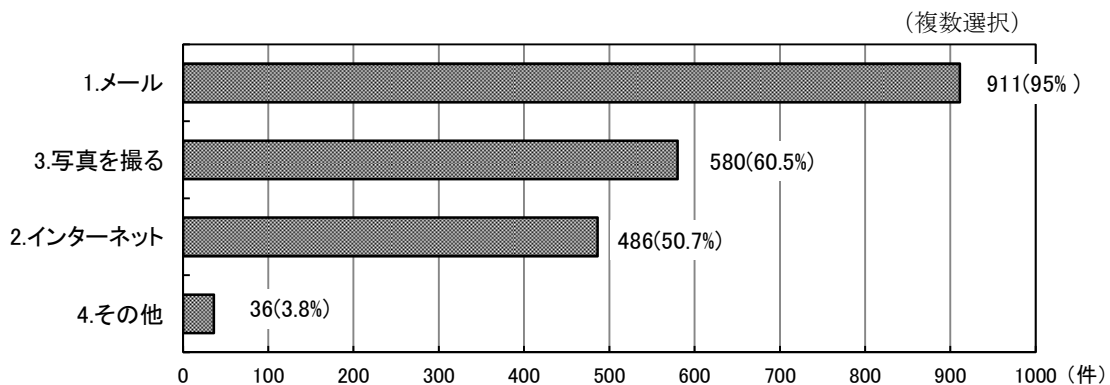
メールの相手先については、配偶者が41.1%、友人が46%、親が7.1%となっている。

「メールの相手先」その他自由記入欄に、以下の記入があった。

- ・仕事、会社関係、兄弟姉妹、小中学生の子ども、親戚等。



携帯電話を通話以外でどのように利用されていますか？(n:959)

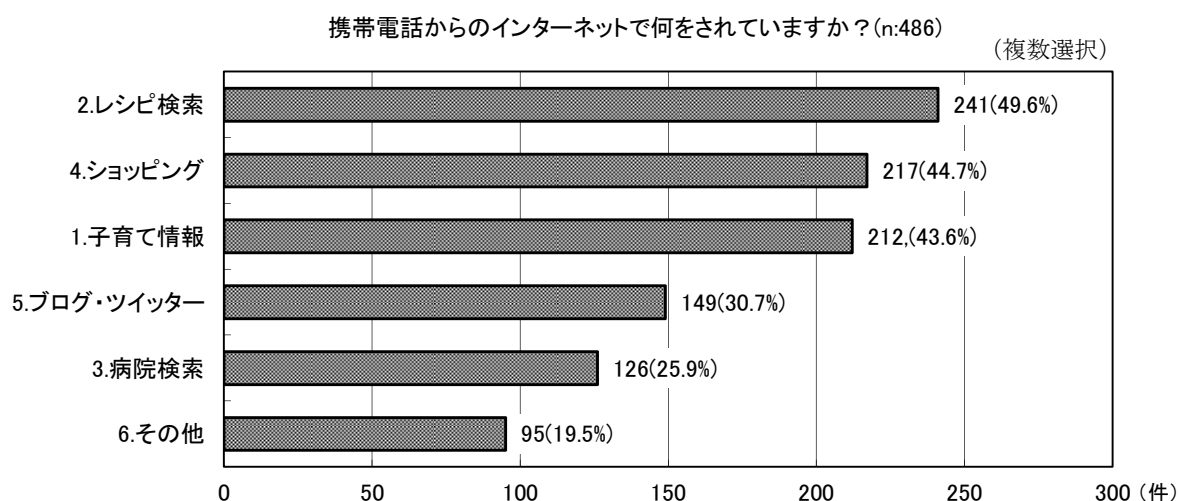


※上記のグラフで「通話以外で何時間使っているか？」の設問で「使っていない」と回答し、「通話以外の利用方法は」の設問で「メール」と回答した場合でも、有効な回答として集計しているため、n:959としている。

「子育てに関するメールで多いもの」自由記入欄に、以下の記入があった。

・子育て情報交換、子育ての悩み。
・病気の日々の体調や病院の診断結果。
・降園後や休日のお約束の連絡。
・保育園での子どもの様子や出来事など、習い事の連絡。
・子どもが発熱しているとき、友人がアドバイス聞いたりしています。
・今こんなことをしていると、写メールで祖父母や夫に送る。

インターネットの利用方法については、「子育て情報」「レシピ検索」「病院検索」「ショッピング」「ブログ・ツイッター」など、考えられるものはだいたい利用されているようである。

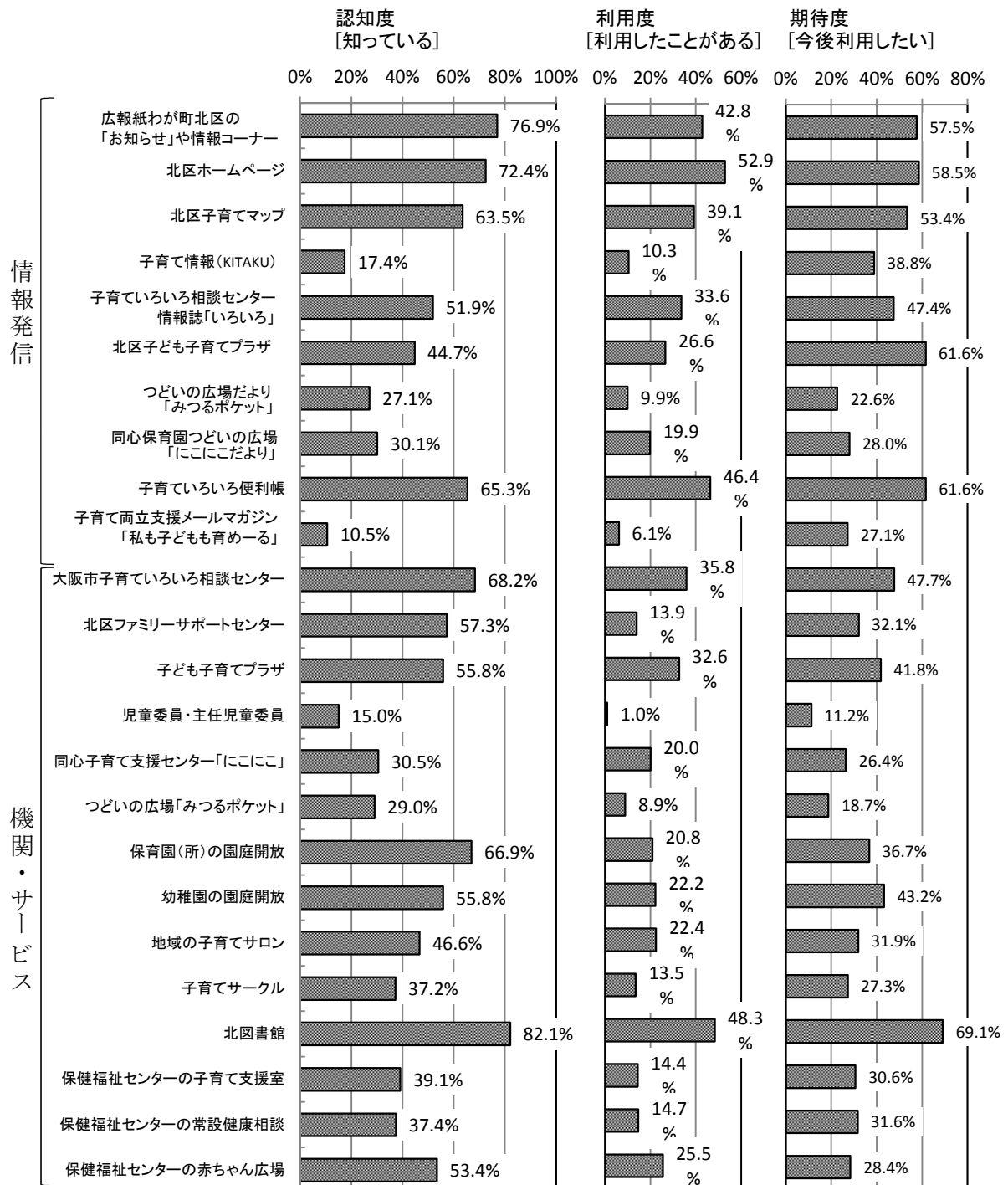


「インターネットで何をされていますか」その他自由記入欄に、以下の記入があった。

・新聞代わりに日々のニュース、天気予報、台風情報。
・ドライブ情報、レジャー、飲食のお店探し、図書館の本の検索、電車、バス等の時刻表。
・クーポン取得。
・仕事、職探し、自営なのでホームページ更新。
・ゲーム、アプリ、コミックを見る。
・mixi (ミクシー)、オークション、おこづかい稼ぎ。
・病状を調べる、病院の予約。
・気になることはすぐ調べる、ほとんどすべての情報源です。

4)北区では、子育て支援に関して下記の情報発信や機関・サービスを展開しています。それぞれについて、ご存知であったり、今までに利用したものがありますか？また、今後利用したいと思いますか？

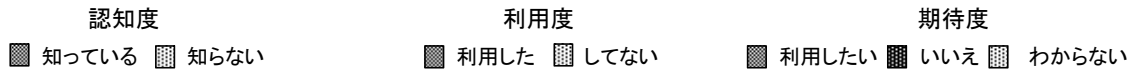
認知度で50%以上の方に認知されているのは、情報発信では全10種類中5種類、機関・サービスでは全14種類中7種類で、いずれも半数であった。
 利用度に関して50%以上をみると、情報発信・機関・サービス全体で唯一北区ホームページのみで、30%以上でみた場合でも全体で8種類と1/3であり、利用度が低い事がわかる。
 期待度については、全てが利用度を上回っており、今まで知らなかった方が今回のアンケートでその存在を知り、期待が高くなっている。



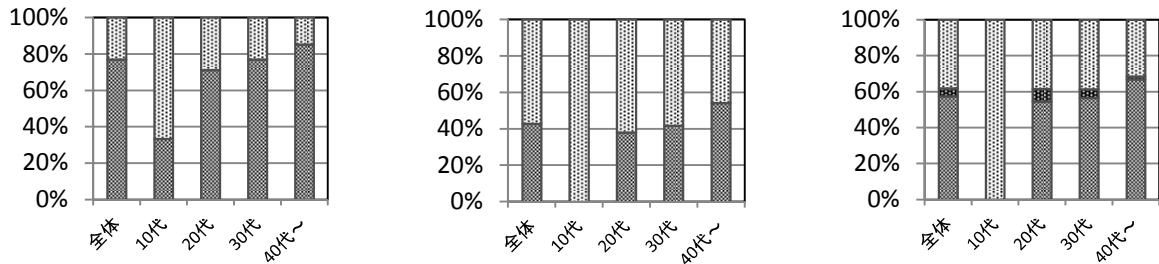
情報発信の「年代別」の状況

情報発信について、20代の認知度・利用度・期待度が高いのは、北区ホームページ、北区子育てマップ、子育て情報(KITAKU)、北区子ども子育てプラザ、つどいの広場「みつるポケット」、子育て両立支援メールマガジン「私も子どもも育めー」となっている。

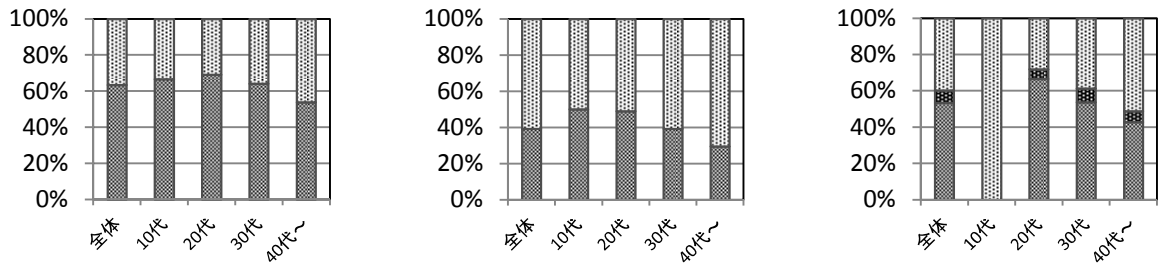
40代においては、広報誌「わがまち北区」、子育ていろいろ相談センター情報紙「いろいろ」の2種類となっている。30代は20代・40代の中に位置しているが、子育ていろいろ便利帳のみ他の年代を上回っている。



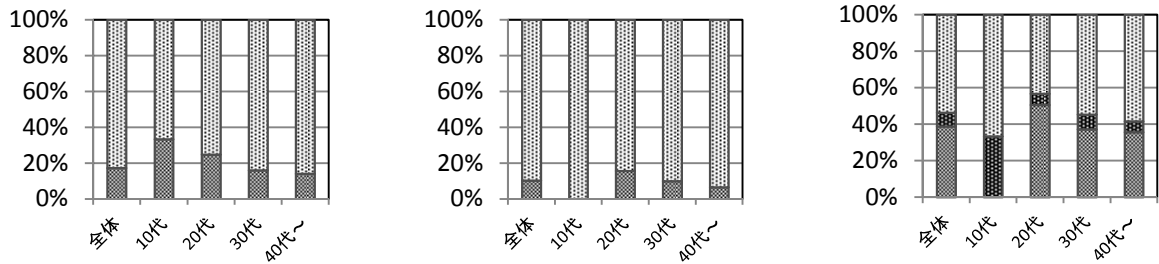
広報紙「わがまち北区」のお知らせや情報コーナー



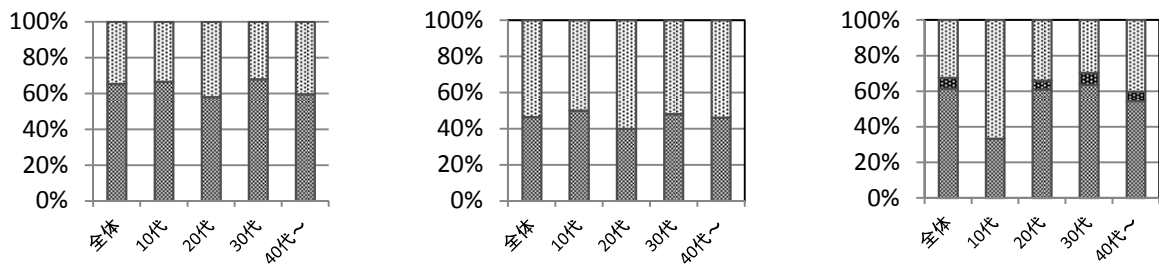
北区子育てマップ



子育て情報(KITAKU)



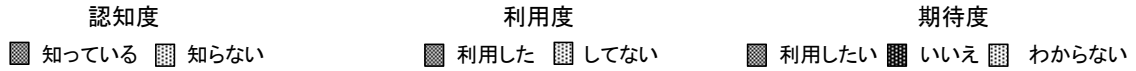
子育ていろいろ便利帳



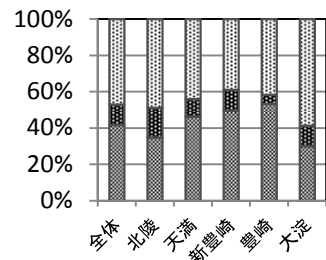
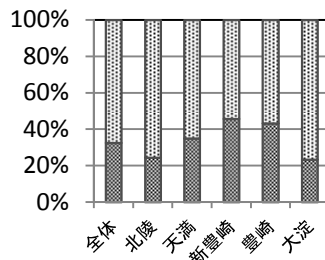
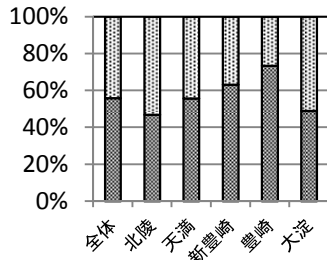
機関・サービスの「地域(中学校区)別」の状況

機関やサービス実施の施設所在地に近い人ほど、認知度・利用度・期待度が高くなっており、関連する情報発信も同様である。例えば、北区子ども子育てプラザは「豊崎」、つどいの広場「みつるポケット」は「大淀」、同心子育て支援センター「にこにこ」は北陵となっている。

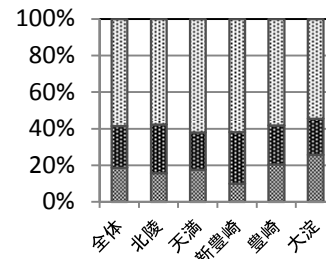
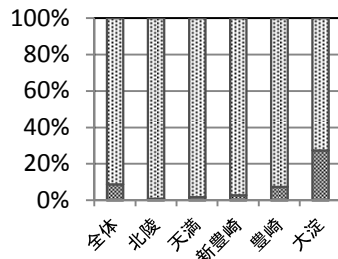
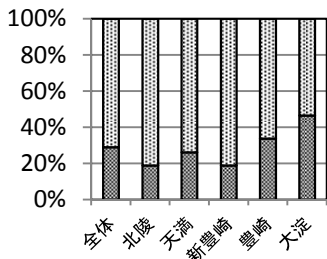
保育園・幼稚園の園庭開放や地域の子育てサロンは、身近なサービスとして認知はされているようであるが、利用度は低くなっている。



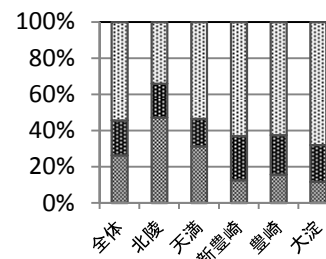
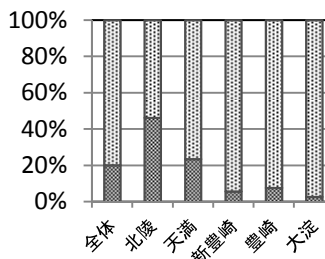
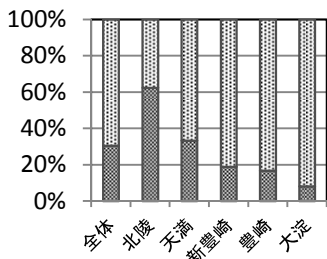
子ども子育てプラザ（所在校区：豊崎）



つどいの広場「みつるポケット」（所在校区：大淀）

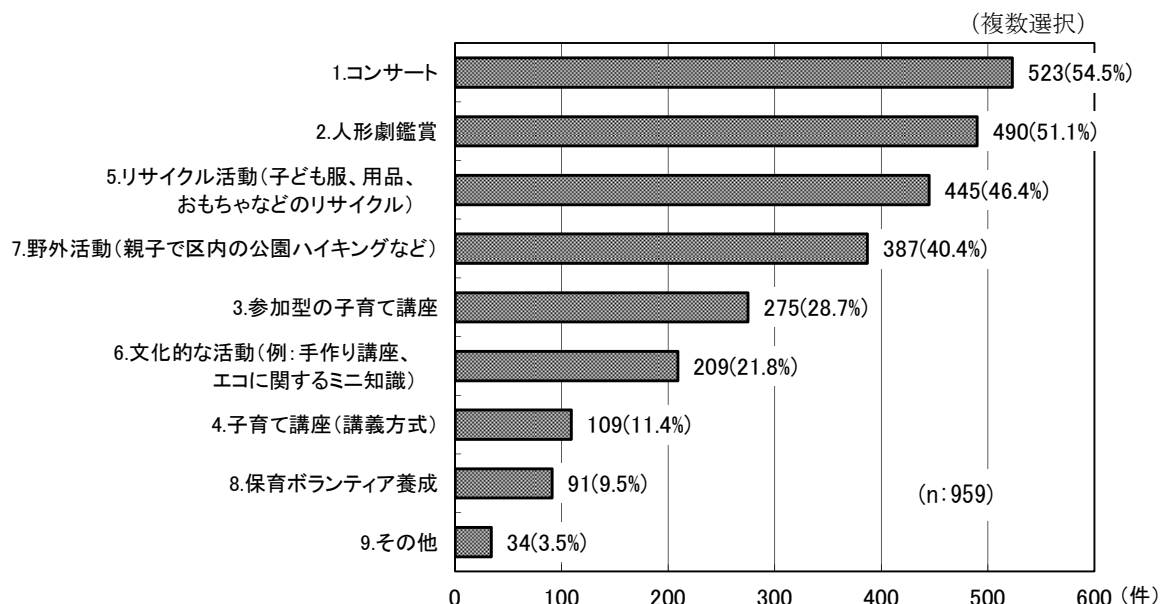


同心子育て支援センター「にこにこ」（所在校区：北陵）



5)北区では、今後親子で参加できるイベント等の開催を考えていますが、あなたが参加したいと思うものをお答えください。

希望が多かったのは「コンサート」(54.5%)、「人形劇鑑賞」(51.1%)となっている。また「リサイクル活動」(46.4%)や「野外活動」(40.4%)への関心も高いことがわかる。子育て講座については、「子育て講座(講義方式)」(11.4%)よりも、「参加型の子育て講座」(28.7%)の実践的な内容に関心が高く、「文化的な活動」(21.8%)へも関心は高いようである。



その他自由記入欄に、以下のイベントの記入があった。

親子で一緒にスポーツ、健康体操、泥んこあそび、手遊び、ヨガ、親子お料理教室、絵本講座(こどもも参加できる)、ダンス、リトミック、英語体操、文化芸術の本物に触れる機会(楽器、落語、オーケストラ、クラシック)、親子劇場(夢を与える企画)、小さな子どもが入れるコンサート・人形劇・映画鑑賞
ママ友が出来るサークル、パパ友サークル(土日祝開催)、父親参加の子育てセミナー(遊び方、接し方)、障害児の子育て講座、ベビーマッサージ、食育イベント
お年寄りと子どもをつなぐ日常的なラジオ体操、区内の外国人親子と触れ合える機会
自然観察会、自然に触れる事を一年通じて、区外での野外活動、バスでの日帰りハイキング(有料)

その他自由記入欄に、以下の意見の記入があった。

<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの無料化、子どもだけで参加できるイベント。 ・休日のイベント開催や予防接種(働いている人の事を考えてほしい)。

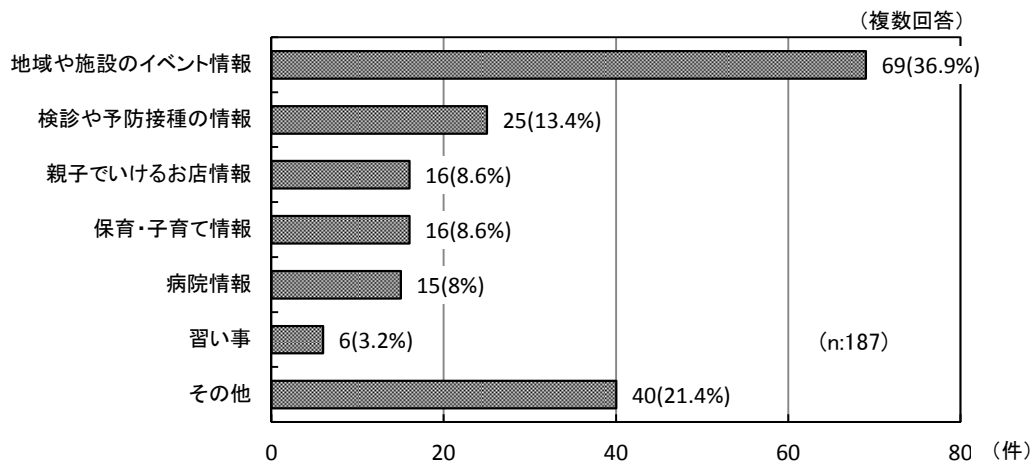
5. 自由意見欄について

1) 携帯で利用したい北区の情報とは？

自由記入欄の記入があった187件について、内容を分類・整理した。一番多かったのが「地域や施設のイベント情報」で36.9%となっており、「健診や予防接種の情報」13.4%、「親子で行けるお店情報」8.6%、「保育・子育て情報」8.6%、「病院情報」8.1%、「習い事」3.2%となっている。

その他の情報として、次の記載があった。

住民票取りたい、天気予報、お店の割引情報、リサイクル情報、クーポン、スーパー特売、安まちメール、電話での緊急相談、小学校のようなメール配信、親子クッキング

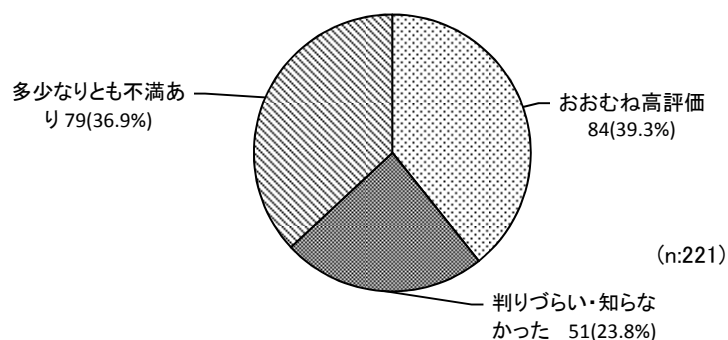


意見の例

- ・ つどいの広場などを利用することもあるのですが、当日行ってみると、イベントで利用できないこともあり、電話で問い合わせをしています。イベント検索ではなく、予約や利用可かどうかの情報があると良いです。
- ・ 健診や予防接種など日程を通知してくれる機能があれば利用したい。
- ・ 子どもOKのお店、レストラン、カフェ、無料の遊ぶところ、安全で子どもが遊べる場所、イベント、バザー

2) 北区の情報や施設を利用して見た、感想や意見は？

意見記入があったのは221件で、その内訳を見ると4割の方には「評価高かった」が、ほか4割弱は「多少なりとも不満あり」をお持ちで、残りの2割強の方は「わかりづらい、または知らなかった」であった。利用者の認識としては、「幼児向けが多い」という意見が多く見られる。意見全般の傾向から、各施設の内容（主旨・目的）を理解して利用している人の評価は高く、そうでないケースは評価が低いようである。

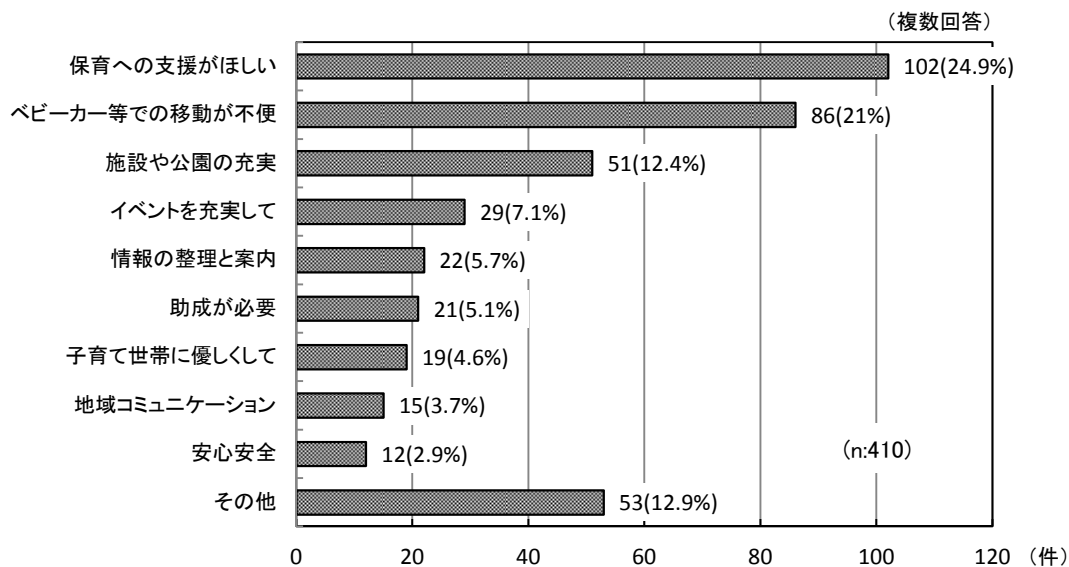


意見の例

- ・地域で行われている子育てサークルはとても良いと思います。公園などでは、なかなか声を掛けられないので、同じ地域のお母さん達とお話できるきっかけとなりよかったです。
- ・知らないものがたくさんあったと思いました。どのようにして、誰が、利用できるのか？など、外に向けて判りやすく、知らせて欲しいです。
- ・お天気の悪い時にお友達と安全に遊べるスペースがあると助かる。自宅を訪ねあうには、人数・マンションでの騒音・茶菓子の準備など、制約が多い。「子育ていろいろ相談センター」は講座の状況で必ずしも使えないので、その点が不便。

3)子育てをしていく上で、公的機関や地域社会の望むことは？

自由記入欄の記入のあった410件について、内容を分類・整理した。



各分類毎に、代表的なキーワードを抜粋した。

保育への支援がほしい

保育園の数を増やして、料金を安くして、内容を充実して、一時保育を増やして、病児保育を増やして、障害児保育（の大変さ）をもっと理解して

ベビーカーでの移動が不便

地下鉄など公共施設のエレベーターが少ない・どこにあるかわからない・遠い、バリアフリーになっていない、オムツ交換・授乳場所が少ない、バス停が少ない、通行人・自転車のマナーが悪い、自転車置くところが無い、商店街狭い

施設や公園の充実

公園を綺麗に、利用時間の延長と土日開催、子どもだけで行ける施設を増やして、自然と触れ合える施設

イベントの充実

土日の開催、時間の延長

情報の整理と案内

内容がわかりづらい、知らない、丁寧な周知を

助成が必要

子どもの予防接種や医療費の無料化、遊ぶ施設・イベントの無料化

子育て世帯へ優しく

働きたいのに働けない、マンションの住人に理解が無い、サポートがほしい

地域とのコミュニケーション

地域との交流、参加しやすくして、お年寄りと子どものふれあい

その他の意見

相談機関が相談しづらい、利用したい施設の地域が遠い（大淀地区に多い）、ボランティア情報、病気情報、父子家庭支援、おもちゃリサイクル、小学校を選びたい、学童保育

4)子育てについてのお考え

自由記入欄に寄せられた意見は、次のとおりであった。

保育所、幼稚園などの保育サービスについて

- ・保育園と幼稚園が交流を持てると、子どもたちにも刺激があると思う。
- ・保育園などにスムーズに入れるようにしてほしい。
- ・保育時間の延長・保育料金の引下げ・病児保育機関の充実がないと、働けない。
- ・保育園で他のお母さん方や先生方と会って、悩みや相談ができる機会があり、感謝しています。保健センターなどで温かい言葉をいただいたら心強いです。
- ・保育所に入れるか不安。早く決まってほしい。
- ・1人目が保育園に入れなければ、2人目を考えることはありませんでした。

子育て支援のための制度やサービスについて

- ・子育て関連施設の情報を、子どもがいる世帯にDMしてほしい。
- ・地域になじめていないプレママさんに、情報がわかりやすく集められるようになれば、子育ての大変さも、悩みを話すことでストレス解消になります。
- ・子育て情報は、このアンケートで初めて知った。こんなにあった事を驚いている。
- ・仕事をしていると、情報を探す時間がないので、紙などで送ってほしい。
- ・子どもが3人以上いる世帯は、とても大変なのに尊敬します。
- ・メルマガで役に立つ情報を発信してほしい。
- ・任意予防接種の費用が高すぎる！
- ・北区のホームページの情報がわかりにくいのと、情報発信の方法をより使いやすくなるように工夫してほしい。
- ・公立学校の教育費の無料化、もしくは負担を下げて。
- ・子どもだけのサービスだけでなく、疲れている親がリフレッシュできるようなイベントに参加したい。
- ・働くお母さんに優しいサービスや環境を提供してほしい。
- ・イベント情報を知りたいが、各種内容が統一されておらずわかりづらい。
- ・大淀地域に子ども関係の施設が少ない。
- ・保育園は、本当に必要な家庭が入れるようにしてほしい。不公平だ。
- ・子ども子育てプラザや会館での子育てサロン、子育て支援センター等無料で利用できる施設が多いので助かってます。おかげで友達ができ、家に閉じこもる事も少なくなり、心にゆとりが持てました。
- ・子育ての情報など、このアンケートで初めて知った事がいっぱいあったのにはビックリです。仕事をしながら子育てしていると自分から情報を集める時間がありません。もっと情報を紙などで送ることはできないか？

子育てについて感じること

・核家族なので、子どもにはいろいろな世代と出会ってほしい。銭湯やご近所の方に可愛がってもらっているが、もっとそんな機会が欲しい。
・子どもを産み育てられたおかげで、人間として成長する目標が出来て、幸せです。
・地域の方々や子どもの関係者大勢の協力で、助けられていることを知り感謝しています。
・実家近くに引っ越してきて、両親のサポートが得られて助かっている。
・子育ての悩みや疑問は、同世代のママや保育園の先生に相談し解消している。体の不安は保健師の先生や、お医者さんに相談している。
・子育てをして初めて大変さを理解したのと同時に、それをやっていただいた両親に感謝している。
・親が近くにいないので誰にも頼れず、主人も当てにできない状態で、2人目の時は大変でした。せめて母子家庭と同様なサポートがほしい。
・子どものためなら何でもできるので、虐待する人の気持ちがわからない。
・思うようにならないことが多いが、自分の成長の場としてとらえ、がんばります。
・2人目欲しいが、様々な点（気持ち・環境）で、育てられるか不安。
・成長する姿を見ると、大変だったことも忘れますが、やはり自分の時間もほしい。
・1人目の時は不安定で、まさか自分が子どもに手を出すなんてと思いましたが、2人目からは、ようやく子どもがかわいいと思えるようになりました。今は周りの協力のおかげだと感謝しています。

仕事と子育ての両立について

・子育ては楽しいが、仕事との両立は疲れて、つい子どもに当たってしまい、反省している。経済面から仕事は辞められないので、子どもの前では笑顔でいます。
・共働きですが、結局育児・家事の負担は母親にかかります。男性ももっと育児に関われるような社会になって、そういう意識になってほしい。

こどもの遊び場や生活環境について

・北区の公園は浮浪者が多く、母子だけで遊ぶのは不安。
・0歳児を気軽につれて出歩けるように、授乳室やステーション的な場所が欲しい。
・歩道を子どもと歩くと、早いスピードや乱暴な運転の自転車がとても怖いです。
・子どもと気軽に行ける場所が欲しい。
・北区は便利だが、地域とのかかわりが薄く、災害などの子どもに危険が迫った時など不安。
・もっと市営住宅を増やしてほしい。

その他

・子育て中で大変な母子を見て見ぬ振りするのではなく、温かい目で見れる社会になっほしい。
・このアンケートとともに、区民参加の子育て支援の話し合う場が欲しい。
・子どもが犠牲になる事件が多く心が痛い。子どもを産む前に、親になる事の勉強をしたり、そういう面を社会がもっと支えるようになってほしい。
・楽しいし、北区も大好きです。
・北区は、独身層・ファミリー層・老人層と複雑な環境で、公園も浮浪者がいて、子育てに良い環境とはいえません。
・きれいな公園がなくて困ってます。

特に特徴のあるお考えについて、生の声としてピックアップした。

家で子どもと過ごすのがつらい時、外に出ると年配の方が何がしか話しかけてくれて、とても心が和みました。自分がいつかその方と同じくらいの年齢になったら、同じように話しかけられたらと思います。また検診などで、定期的に保健福祉センターに行き、同じ年齢の人・地域の人と会ったり、いろんな事を（離乳食の事等）教えて頂き、ありがたく思いました。

子育てはこれからが本当に大変なのかもとも思ったりしますが、北区には「子育ていろいろ相談センター」等もあり、「いざという時は頼れそう！」と思えるので心強いです。

主人の仕事の関係で大阪へ来て、1年後に第1子が誕生しました。友人も居ないなか、主人の帰りも遅く、不安やさびしい気持ちで育児を楽しめていなかったのですが、たまたま近所の同年代の親子と親しくなり、「にこにこ」へお誘いを受け参加してからは、新しいお友達や「にこにこ」で会うとおしゃべりできるママたちが増え、楽しく毎日を送れるようになりました。

子育てしてると孤独を感じてしまいがちですが、外に出て人と話すだけでも気分転換できるものなので、多くのママたちが気軽に参加できる「にこにこ」のような活動を増やしたり、もっとママ同士の口コミ以外でも情報が得られるようにして、みんなが育児を楽しめるようにしてもらいたいと思っています。

子育ては、いざ実際にしてみるとかなり大変なことを実感している。しかし子どもの寝顔や笑顔を見ると、自分の寝不足感やそれからくるだるさは、ふっとんでしまうのが不思議に感じます。

また自分が赤ちゃんの頃も、自分の両親が私と同じ事を体験してきたことを考えると無性に、両親へ心の底から感謝せずにはいられなくなります。

1人目のときは自分でもびっくりするくらい不安定になり、泣きやまないわが子に手を出してしまったこともありました。その時自分がまさか、子どもに暴言を言ったり、手を出すなんてと思いましたが、2人目が出来て落ち着きました。

慣れもあるでしょうが、やっとここで子どもが可愛いと思えるようになりました。虐待についても、実際に直面している「親も苦しいんだろうな」と気持ちが少し判ります。ただ今は、周りにいる方の協力のおかげだなと感謝しています。

結婚当初北区に引っ越してきて大変便利だけれども、子どもができたらどうなんだろうかと不安に感じていました。ところが実際子どもができると、地域の方々のボランティアや安まち隊の皆様・北区民カーニバル等、様々なイベントや多くの方々に支えられて、とても楽しく子育てができております。今後とも北区から引っ越す予定はありません。これからも北区でボランティアや活動を通じて、親子で成長していきたいです。

赤ちゃん連れて歩いていると、とても沢山のの人に声をかけられます。先日九州の実家に帰った時はそれほどでもなく物足りない思いをしたものです。その点では大阪で子育てしていくことを選んでよかったと思っています。

ただ商店街のような狭くて歩行者の多いところで、相変わらず歩きタバコしたり、猛スピードで自転車を走らせたりする人が多いのが残念です。そういう行動をする人は、よく見てみると、ほとんどが子育てをしたことが無いであろう若い人や、子どもがいても間違いなく子育てに参加しなかったであろう中年男性のようです。遭遇してしまうと強い不快感を覚えます。未来の日本を支えていく人材（子ども）をなぜ邪魔者として考えられないのか、もう少しこういう人たちと、子育てを経験した（している）我々が歩み寄れないものかと考えてしまいます。

また子育て中のお母さんでも、傍から見て周りの迷惑を省みず、席や道を譲ってもらって当たり前という態度をとってしまっている人もいて、子ども嫌い・子連れ嫌いの人が増えてしまわないか心配になります。

誰もが相手を思いやる気持ちを常に忘れない、やさしい社会になるよう私も努力したいです。

今はまわりに頼る人も少なく、孤立していて悩む人も多いと聞きますが、私は地域で様々なイベント集まり講座などあって、それをうまく利用したらそんなに孤立することもないんじゃないかと思っています。そして北区というところも、とても便利だと思っています。保育園でチラシをもらうことが多いですが、そういうの知らない人にも、もっと教えてあげられたらいいなと思います。初めての子育てはわからない事だらけなので、それについて勉強できる機会があるのは、いつも感謝しています。そして前にも書きましたが、それが土日も多く増えたら、働きながらでも両立してやっつけていけると思います。

子どもができて色々と制限されることも多いですが、子どものいる生活はとてもすばらしくて楽しいものです。私は周りの人に恵まれてなんとかやってこれました。保育園があったというのがとても大きく頼りにできる場所でした。核家族でなかなかサポートのない家庭のママが気軽に子どもを預かってもらえる場所があれば良いのと思います。

子どもが自由に体を使って遊べる場所、環境が少ないです。公園や広場ではボール遊びは駄目とか、子どもの声がうるさいからとか、子どもが大きな声で話さないのは異常です。子どもが体を使わず遊ぶのはおかしいです。子どもは日本の未来の宝なのに、世間の人々はどう思われているのでしょうか。昔は子どもたちが自由に人の前でも遊び、大きなはしゃぎ声を上げて遊び、それを大人たちが（近所で）見守り育てていたように思います。子どもが大声で走りまわって遊ぶ姿があまり見られませんね。

子どもの体力の低下、子どもがキレたり、学力低下、子どもの虐待、いじめなど様々な事件などを、現在の子と親の責任として捉えるのではなく、世間で暖かく見守り子どもたちを育てる環境をお願いします。

子どもの躰は責任を持って親がするべきだと考えています。この子が大人になって社会に出るとき、間違ったマナーやルールに流されず、節度を持った行動を取れるようにすることが躰だと思います。一方で子どもが親から離れてすごせるようになってくると、親を介せず、子どもに直接入ってくる情報、ふれる環境、こういったものが心配です。安心して外で遊べる町になってほしいと思います。

子育てする母親（父親）がもっと自由に働く事を選べるようなシステムを作ってもらえたら良いなと思う。父親（母親）の育児休暇ももっととりやすい雰囲気になって両親で子育てする環境が当たり前の社会になったら素敵だと思う。

核家族が増えている中で、地域との関わりを大切にしたいと思う。躰や教育など家族だけでなく地域ぐるみで子育てしていくことが今の世の中では、大切なことのように思う。もっと地域人たちが子育てに関心を持ってほしい。

父親不在。自分も含めてだと思いますが、結婚を安易に考えている人が多いように思います。出産前には両親学級などを実施し、事前に心構えをさせてもらえますが、結婚に関しては紙に必要事項を記入するだけ。子育て以前に自分育てができていない大人が増えて、恐ろしく感じます。子育てはとても重要な活動だと思いますので、それに携わる大人育ても考えていただけたらと思います。

北区子育て支援に関するニーズ調査(無記名)

大阪市北区保健福祉センター

資料

この度はアンケートへのご協力、誠にありがとうございます。

《ご回答いただくにあたっての留意点》

・回答は基本的に、設問に対して、適切な選択肢の番号に「○」をおつけください。

記入例→ 2)どなたかのサポートがありますか？(いずれか1つに○)

1. ほとんど1人で子育てしている

② サポートがある (該当するものに全て○)

{ 1. 配偶者 ② 親族(祖父、祖母、他) 3. 友人 4. ご近所の方
5. 幼稚園、保育園 ⑥ その他 [ベビーシッター] }

指定のあるところについては、該当箇所の内容に沿ってお書き下さい。

項目に当てはまらない場合は、その他()に具体的にご記入ください。

・年齢欄は、平成22年10月1日を基準にお書きください

・記入は、主に現在就学前のお子さんを養育されておられる方が記入してください。

・文面中の「お母さん・お父さん」とは、未就学児のお母さん・お父さんを指しています。



このアンケートをお書きいただける方は？(いずれか1つに○)

1. お母さん 2. お父さん 3. その他 []

お住まいについて

1)あなたが今住まいの地域はどちらですか？

下記の該当する「小学校区」の番号に○をつけてください。(いずれか1つに○)

1. 滝川 2. 堀川 3. 西天満 4. 菅北 5. 豊崎東
6. 豊崎本庄 7. 中津 8. 大淀 9. 豊仁 10. 豊崎 11. 扇町
12. 校区がわからない

→お住まいの町名をお書き下さい []

2)お住まいの状況について

現在お住まいの場所は、いつ(年月)からお住まいですか？(いずれか1つに○)

1. 昭和 2. 平成 _____ 年 _____ 月から居住しています。

現在のお住まいの前は、どちらにお住まいでしたか？(いずれか1つに○)

1. 北区内 2. 大阪市内(北区以外) 3. 他市町村(大阪市内)

現在お住まいの居宅の種類は？(いずれか1つに○)

1. マンション 2. 市営・UR住宅 3. アパート・ハイツ
4. 一戸建て 5. その他 []

北区を居住地に選んだ理由は？(該当するものすべてに○)

1. 生まれ育ったところだから 2. 職場に近いから 3. 実家が近いから
4. 生活に便利だから 5. その他 []

将来、転居を考えておられるかたにおたずねします。

転居をお考えの理由は何ですか？(いずれか1つに○)

1. 子育て、就学の環境を考えて 2. お仕事の都合 3. ご家庭の事情
4. 家賃や住環境を考えて []
5. 近くに親しい人がいない 6. その他 []



ご出産について

1) はじめてお子さんが出来た時、どのように思われましたか？(該当するもの全てに○)

1. 子どもが出来た事が非常にうれしかった
2. 生まれてくる子どもへの期待感が大きかった
3. 妊娠中順調だった
4. 産後は順調だった
5. まわりの人が喜んでくれた
6. 親族など援助をしてくれる人がいた
7. 相談相手がいなくて不安だった
8. 産むことに戸惑いを感じた
9. マタニティブルーになった
10. 仕事の両立で悩んだ
11. 経済的不安があった
12. その他

[

]

2) 母子手帳をもらうときや出生届時の、大阪市(北区)の情報や説明はどうでしたか？

(いずれか1つに○)

1. 充分だった
2. だいたいわかった
3. もっと詳しく説明してほしい
4. ほかに知りたい情報があった

→何が知りたかったですか？

[

]

3) はじめての出産までに、子育てを手伝ったり、

赤ちゃんに触れる機会がありましたか？(該当するもの全てに○)

1. 親族の子育て
2. 友人の子育て
3. 近所の知り合いの子育て
4. その他
5. 無かった

[

]

4) 現在お子さんが1人のかたにおたずねします。2人目はお考えですか？(いずれか1つに○)

1. 考えている (できれば、_____人くらいほしい)
2. 1人でいい
3. 考えていない

→お1人でいい理由は？

[

]

5) お子さんが2人以上いるかたにおたずねします。

お2人目以降のお子さんが生まれる時、どのように思われましたか？(該当するもの全てに○)

1. 「きょうだい」ができることがうれしかった
2. はじめての出産のときより不安が少なかった
3. 相談相手がいなくて不安だった
4. 産むことに戸惑いを感じた
5. 子育ての負担が大きくなった
6. 仕事の両立で悩んだ
7. 経済的不安があった
8. その他

[

]

子育てについて

1)今の子育ては、どなたが中心となっておりますか？(いずれか1つに○)

1. お母さん 2. お父さん 3. その他

{

2)どなたかのサポートがありますか？(いずれか1つに○)

1. ほとんど1人で子育てしている

2. サポートがある(該当するもの全てに○)

- { 1. 配偶者 2. 親族(祖父、祖母、他) 3. 友人 4. ご近所の方
5. 幼稚園、保育園 6. その他

{

< 子育てをされていて思ったことを、教えてください >

3)子育ては楽しいですか、つらいですか？(いずれか1つに○)

1. 楽しい 2. 楽しい事もあるし、つらい事もある 3. つらい
4. その他

{

4)上の3)で、「楽しい、楽しい事もある」と答えた方におたずねします、どんなときにそう感じますか？(該当するもの全てに○)

1. 抱いたり、ふれあってあそぶとき
2. 子どもの笑顔・寝顔をみたときや、笑い声を聞いたとき
3. 自分に慕って甘えてくれるとき
4. 親子でいっしょにすごすとき
5. 友人の親子と遊びに行くとき
6. おじいちゃん・おばあちゃんと家族団らんをすごすとき
7. その他

{

5)上の3)で、「つらい、つらい事もある」と答えた方におたずねします、なぜそのように思いましたか？(該当するもの全てに○)

1. 自分の時間がない
2. 子育ての負担が自分だけにかかっている
3. 配偶者、親族との子育ての方針が違う
4. 子どもが、思うようにならない
5. 子どもとの接しかたや、あそびかたがわからない
6. 周囲の目が気になる(子どもの泣き声が激しいなどの時)
7. 相談相手がないこと
8. その他

{

6)子育てをすることで、「あなた」や「あなたの生活」がどう変わりましたか？(該当するもの全てに○)

1. 人間関係が広がった
2. 親も成長すると感じた
3. 心が豊かになった
4. 子どものためなら何でもできると思えるようになった
5. 経済的に苦しくなった
6. 時間や行動など、制限される事が多くなった
7. 人間関係が面倒くさくなった
8. 何も変わっていない
9. その他

{

7) 育児の不安や大変さを乗り越えるために、何か工夫されていることはありますか？

1. 配偶者や親族に協力してもらっている (該当するもの全てに○)

(何を協力してもらっていますか？ 該当するもの全てに○)

- { 1. 家事の手伝い 2. 育児の手伝い 3. 休日の育児 4. 実家にあずかってもらう
5. その他 }

2. 子育て中の親同士で友だち(グループ)をつくっている

3. 相談機関を利用している

(該当するもの全てに○)

- { 1. 電話相談 2. 面接相談 3. その他
4. 地域の「サロン」や、「つどいの広場」を利用している
5. 一時保育を利用している
6. ボランティア(ファミリー・サポートセンター)など育児支援を受けている
7. インターネットを利用したの相談・書き込み(ブログ・Twitterなど)をしている
8. その他 }

8) 子育てで大事にしていることはありますか？(該当するもの全てに○)

1. しつけ(公共のマナー、物事の善悪、行動など)は家庭でするようにしている
2. 生活リズムは子どもにあわせて考えている
3. 会話や食事など家族でそろって接する機会をつくっている
4. 人や地域とのつながりを持つ事が大事だと思っている

現在お住まいの地域・ご近所で、学校・園とのかかわりがあればご記入ください

5. 子どもと遊ぶ時間を大切にしている(1日平均 _____ 時間ぐらい)

(何をして遊んでいますか？ 該当するもの全てに○)

- { 1. 絵本を読む 2. あやしったりふれあってあそぶ 3. 外で体を動かしてあそぶ
4. ゲームなどを一緒にする 5. 休みの日家族で出かける 6. テレビを一緒に見る
7. その他 }

6. 実体験を大切にする

(どんな実体験ですか？ 該当するもの全てに○)

- { 1. 一緒に料理をする 2. お手伝いをさせる 3. 自然にふれてあそぶ
4. その他 }

7. 子どもの良いところを見つけてほめる

8. 他人の子どもでも注意することがある

9. その他

9) どんな子どもに育ってほしいですか？(該当するもの全てに○)

1. 友だちがたくさんいる子 2. 人に対して思いやりのある子
3. 困難を乗り越える力をもった子 4. 将来に夢を持てる子
5. 学習する力をもった子 6. 金銭や物を大切にする子
7. 元気で健康な子 8. よく食べよくあそぶ子
9. 素直な子 10. その他

子育て情報について

1) 子育て支援に関するいろいろな役立つ情報が、大阪市から発信されていますが、あなたはどのように利用されていますか？(いずれか1つに○)

1. 積極的に得るようにしている
2. あまり関心がない
3. 情報を得たいが、どのようにしたらよいのかわからない
4. 情報が多く迷ってしまう
5. どのような情報があるのかわからない

2) 上の1)で「積極的に得るようにしている」とお答えになったかたにおたずねします。どのような方法で情報を入手されていますか？(該当するもの全てに○)

1. 幼稚園や保育所からのお知らせ
2. 広報誌(わがまち北区)
3. 情報誌(KITAKUなど)
4. 書店で販売されている雑誌や書籍
5. インターネットや携帯サイト
6. 知人からの口コミやメール
7. 保健福祉センターからのお知らせ
8. その他

{

}

3) 最近では、携帯電話で様々な事(情報収集、発信等)が行えるようになりました。携帯電話のご利用に関しておたずねします。

1. 携帯電話は、通話以外で1日何時間くらい利用されていますか？(いずれか1つに○)

1. 使っていない
2. 1時間以内
3. 2時間以内
4. 2時間超

2. 携帯電話は、通話以外でどのように利用されていますか？(該当するもの全てに○)

1. メール (メールで一番多い相手先はだれですか、いずれか1つに○)

- { 1. 配偶者 2. 友人 3. 親 4. その他

{

}

(子育てに関するメールで、多いものをご記入ください。いくつでも)
子育て情報交換、子育ての悩み…

{

}

2. インターネット (インターネットで何をされていますか？該当するもの全てに○)

- { 1. 子育て情報 2. レシピ検索 3. 病院検索 4. ショッピング
5. ブログ・ツイッター 6. その他

{

}

3. 写真を撮る

4. その他

{

}

3. 携帯電話で利用したい、北区の情報はありますか？ご記入ください。

{

}

4)北区では、子育て支援に関して下記の情報発信や機関・サービスを展開しています。

1. それぞれについて、ご存知であったり、今までに利用したものがありませんか？また、今後利用したいと思えますか？それぞれの項目ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに○をつけてください。

項目	A 知っている	B 利用したことがある	C 今後、利用したい
情報発信	広報誌「わがまち北区」のお知らせや情報コーナー	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	北区ホームページ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	北区子育てマップ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	子育て情報(KITAKU)	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	子育ていろいろ相談センター情報誌「いろいろ」	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	北区子ども・子育てプラザ「つどいの広場だより」	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	つどいの広場だより「みつるポケット」	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	同心保育園つどいの広場「にこにこだより」	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	子育ていろいろ便利帳	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	子育て・両立支援メールマガジン「私も子どもも育める」	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
機関・サービス	大阪市子育ていろいろ相談センター	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	北区ファミリーサポートセンター	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	子ども・子育てプラザ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	児童委員・主任児童委員	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	同心子育て支援センター「にこにこ」	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	つどいの広場「みつるポケット」	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	保育園(所)の園庭開放	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	幼稚園の園庭開放	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	地域の子育てサロン	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	子育てサークル	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	北図書館	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	保健福祉センターの子育て支援室	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	保健福祉センターの常設健康相談	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
保健福祉センターの赤ちゃん広場	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない	

2. 上記を利用して、感想やご意見があればお書き下さい。

5)北区では、今後親子で参加できるイベント等の開催を考えていますが、
あなたが参加したいと思うものをお答えください。(該当するもの全てに○)

1. コンサート
2. 人形劇鑑賞
3. 参加型の子育て講座
4. 子育て講座(講義方式)
5. リサイクル活動(子ども服、用品、おもちゃなどのリサイクル)
6. 文化的な活動(例:手作り講座、エコに関するミニ知識)
7. 野外活動(親子で区内の公園ハイキングなど)
8. 保育ボランティア養成
9. その他

[

]

6)子育てをしていく上で、公的機関や地域社会に望むことがあればご記入ください。

[

]

ご家庭の状況について

1)ご家族の構成をご記入下さい。

お子さんと同居されているご家族全てに○をおつけください。

1. お父さん { 1. ~19歳 2. 20~29歳 3. 30~39歳 4. 40歳~
2. お母さん { 1. ~19歳 2. 20~29歳 3. 30~39歳 4. 40歳~
3. おじいちゃん { 1. ~49歳 2. 50~59歳 3. 60歳~
4. おばあちゃん { 1. ~49歳 2. 50~59歳 3. 60歳~
5. その他同居人

[

]

お子さんの人数は何人ですか?(人)、年齢・性別・状況を下記欄にご記入ください。

	年齢	性別	状況(就学・就園・その他)
例	6歳	⊙男/女	就学:小学校xx年、中学校xx年、高校xx年 就園:保育所、保育園、幼稚園、託児所 その他:認可外保育所、託児所、未入所(在宅)など
1人目	()歳	男/女	
2人目	()歳	男/女	
3人目	()歳	男/女	
4人目	()歳	男/女	
5人目	()歳	男/女	

2)お子さんの将来の進路について、お考えがおりますか？(いずれか1つに○)

1. 北区内で、公立小学校への進学を考えている
2. 私立小学校への進学を考えている
3. 今は特に考えていない
4. その他

{ }

3)お母さんは今、就労していますか？(いずれか1つに○)

1. 就労している (いずれか1つに○)
{ 1. 会社員 2. 自営業 3. 公務員 4. 派遣 5. パート 6. アルバイト
2. 就労していない (いずれか1つに○)
{ 1. 子どもができるまで就労していた 2. 就労したことがない

お父さんは今、就労していますか？(いずれか1つに○)

1. 就労している (いずれか1つに○)
{ 1. 会社員 2. 自営業 3. 公務員 4. 派遣 5. パート 6. アルバイト
2. 就労していない



4)今のご家庭の暮らし向きについて、近いものはどれですか？(いずれか1つに○)

1. 非常にゆとりがある
2. ある程度ゆとりある
3. まあまあ
4. 少し苦しい
5. かなり苦しい

5)最後になりましたが、子育てについて思っていることを自由にご記入ください。

{ }

以上で、アンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。



お手数ですが、当アンケート用紙(2枚/8ページ)を 3つ折にし、
同封の返信用封筒(薄ピンク色)に入れ、平成22年11月10日(水)までに、
お近くのポストにご投函下さいますようお願いいたします。(切手は不要です)

調査内容につきましては、当該調査目的以外に使用することはありません。
尚、個人のプライバシーに関わる事項を公表することはありません。

このアンケートについてのお問合せ先
〒530-8401
大阪市北区扇町2-1-27
大阪市北区保健福祉センター 福祉担当(地域福祉)
TEL:06-6313-9489

北区子育て支援に関するニーズ調査 報告書

平成23年3月発行

発行 大阪市北区保健福祉センター福祉担当(地域福祉)
〒530-8401
大阪市北区扇町2-1-27
TEL:06-6313-9489